

『みなと区民の森』自然環境調査

報 告 書

平成 20 年 4 月

あきる野さとやま自然塾

1. 調査概要

1-1. 調査の目的

この調査は、地域の自然特性を把握し、評価するため、動植物について調査し、動植物の保全及び土地利用を検討するための基礎とするべく実施するものである。

1-2. 調査地域

「みなと区民の森」及びその周辺域

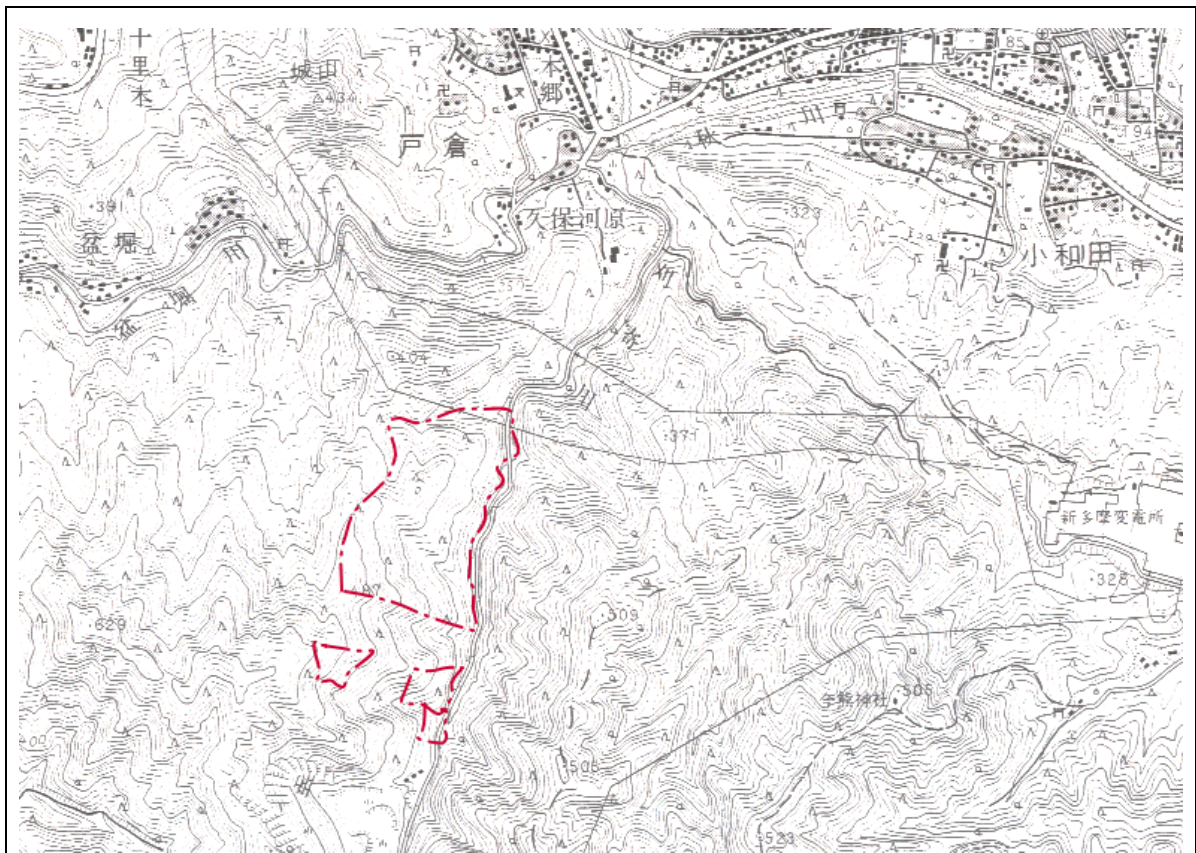


図1-1 調査地域

2. 調査方法

2-1. 調査項目

植物調査・・・植物相、希少植物移植

動物調査・・・哺乳類、鳥類（一般鳥類、オオタカ）、両生類・爬虫類、昆虫類、魚介類・底生動物

2-2. 調査期日

現地調査は、平成19年4月より調査を開始し、四季に渡り調査を実施した。

調査工程を表2-1に、調査期日を表2-2に示す。

表2-1 調査工程

調査項目		調査時期		平成 19 年									平成 20 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
植物	植物相														
	希少植物移植														
哺乳類															
鳥類	一般鳥類														
	猛禽類 (オオタカ)														
両生類・爬虫類															
昆虫類															
魚介類・底生動物															

表 2-2 調査期日

調査項目		調査季及び調査日
植物相		春 : 平成 19 年 5 月 13 日 夏 : 平成 19 年 8 月 25 日 秋 : 平成 19 年 10 月 16 日
希少植物移植		春 : 平成 19 年 4 月 15 日、5 月 4、5 日
哺乳類		春 : 平成 19 年 4 月 14 日、5 月 4 日、5 日、5 月 13 日、6 月 2 日 夏 : 平成 19 年 7 月 7 日、7 月 16 日 秋 : 平成 19 年 10 月 5 日 冬 : 平成 20 年 2 月 17 日
鳥類	一般鳥類	繁殖期 : 平成 19 年 5 月 4、5 日、5 月 19 日、6 月 2 日 夏 : 平成 19 年 7 月 7 日 秋 : 平成 19 年 10 月 5、10 日 冬 : 平成 20 年 2 月 29 日
	猛禽類 (オオタカ)	19 年繁殖期 : 平成 19 年 4 月 15 日、5 月 4 日、5 月 13 日、5 月 20 日、 6 月 2 日、6 月 12 日、6 月 17 日、7 月 8 日、7 月 16 日、 8 月 25 日 19 年非繁殖期 : 平成 19 年 9 月 8 日、10 月 21 日、11 月 18 日 20 年繁殖期 : 平成 19 年 12 月 23 日、1 月 27 日、2 月 17 日、3 月 8 日
両生類・爬虫類		春 : 平成 19 年 4 月 14 日、5 月 4 日、5 日、5 月 13 日、6 月 2 日 夏 : 平成 19 年 7 月 7 日、7 月 16 日 秋 : 平成 19 年 10 月 5 日 冬 : 平成 20 年 2 月 1 日
陸上昆虫類		春 : 平成 19 年 5 月 4 日、5 日、20 日 夏 : 平成 19 年 8 月 19 日、25 日、27 日 秋 : 平成 19 年 10 月 6 日、7 日
魚介類・底生動物		春 : 平成 19 年 4 月 14 日、5 月 20 日 夏 : 平成 19 年 7 月 16 日 秋 : 平成 19 年 11 月 10 日 冬 : 平成 20 年 2 月 1 日

2-3. 調査方法

各調査項目における調査方法の概要を、表2-2に示す。

表2-2 調査方法の概要

項目		調査方法
植物	植物相	調査対象地域を踏査し、種子植物など主な植物相について把握する。
	希少植物移植	作業道路や東屋等設置の地形改変により、影響を受ける恐れがある希少植物を一時的に避難させるために、移植作業を実施する。(避難させた希少植物は、将来的に森への再移植を実施する。)
動物	哺乳類	調査対象地域を踏査し、フィールドサインの発見や目視により生息する動物種を確認する。また、マウストラップを設置し、センサーカメラを用い生態記録に努め、哺乳類相及び重要種の生息状況について把握する。
	鳥類	ラインセンサス法(時速2km程度で調査ルートを歩き、種名等を記録する)及び観測地点を設定して調査するスポット調査法により鳥類相及び重要種の生息状況について把握する。
	両性類・爬虫類	調査対象地域を踏査することにより種の確認を行い両生・爬虫類相及び重要種の生息状況について把握する。
	昆虫類	スウィーピングやビーティングによる任意採集、ライトトラップ、ベイトトラップにより昆虫相及び重要種の生息状況について把握する
	魚介類・底生生物	たも網やセルびんによる捕獲により水生生物相及び重要種の生息状況について把握する。

2-4. 調査地点

調査地点を、図2-1、図2-2に示す。

2-5. 重要種の選定

重要種は、東京都レッドデータブックの西部地区として記載されているもの、または最新の環境省レッドデータブック、レッドリストに記載されているものを選定根拠とした。

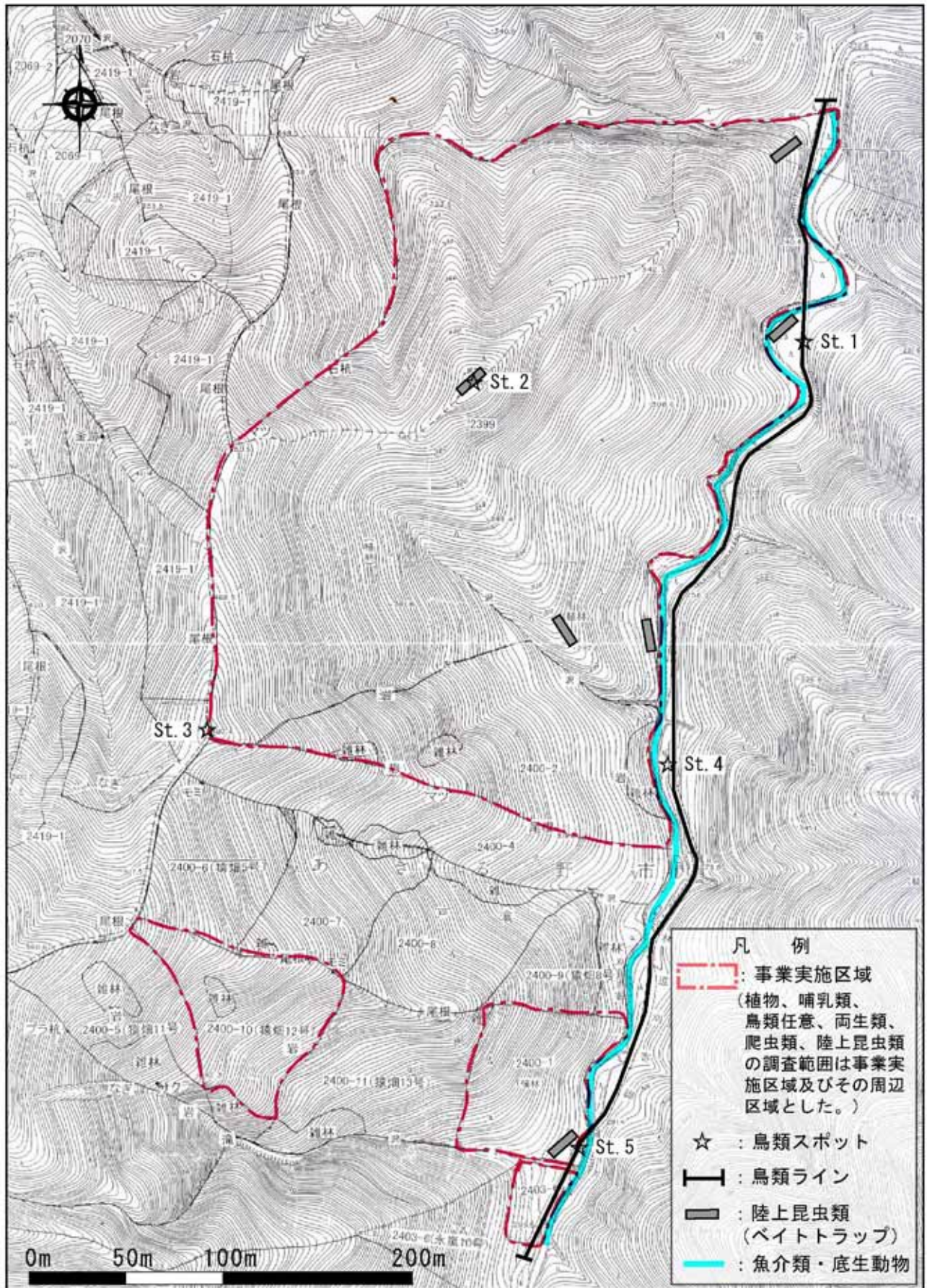


図2-1 調査地点位置図 (猛禽類以外)

3. 調査結果

3-1. 植物調査

3-1-1 植物相

春から秋にかけて調査を実施した。

調査の結果、100科 352種の植物が確認された。分類別確認種数を表 3-1 に、確認された植物リストを表 3-2 に示す。

重要種として、尾根沿いのアカマツ群落沿いに、東京都レッドデータブックに A ランクとして記載されるヒトツボクロが、谷筋に東京都レッドデータブックに B ランクとして記載されるミズ確認された。重要種の確認位置を図 3-1 に示す。

帰化種は、オオアレチノギク、セイヨウタンポポ等 17 種が確認された。

確認された植物の特徴を以下に整理する。

- ・ 確認された植物種は、東京都西部丘陵の樹林帯で主に確認される種がほとんどである。
- ・ 尾根では、アカマツ、クリ、ネジキ、シュンラン等、谷部でミズキ、マツカゼソウ、ヤブミョウガ、刈寄谷川沿いでは、フサザクラ、ツルヨシ、カヤラン等が確認された。
- ・ ただし山林はスギ、ヒノキで樹冠がふさがっているため、コナラ、クマシデ、シラカシ、ケヤキ等の広葉樹はそのほとんどが低木であり、生育密度も低い。
- ・ 帰化種の割合が 5%と極めて少なく、人為的影響の少ない、日本在来の植物が多く残る環境にある。
- ・ みなと区民の森の潜在自然植生は、刈寄谷川沿いでケヤキ、ミズキ等が優占するケヤキ群集（パイオニアとしてはフサザクラ）山林部ではシラカシ群集である。林相転換後、これらの自然植生を構成する木本の実生（自然に発生した稚樹）については、刈らずに残す等の配慮を行うべきである。

表 3-1 分類別確認種数

分類群	科数	種数
シダ植物	11	29
種子植物	89	323
裸子植物	4	5
被子植物	85	318
双子葉植物	77	269
離弁花類	52	178
合弁花類	25	91
単子葉植物	8	49
全 体	100	352

表 3-2 植物の確認状況 (1/7)

分類名	科名	和名	学名	春	夏	秋	備考	
シダ植物	ヒカゲノカズラ	トウゲシバ	<i>Lycopodium serratum</i>					
	ゼンマイ	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>					
	キジノオシダ	ヤマソテツ	<i>Plagiogyria matsumureana</i>					
	ウラジロ	ウラジロ	<i>Gleichenia japonica</i>					
	コバノイシカグマ	イヌシダ		<i>Dennstaedtia hirsuta</i>				
		フモトシダ		<i>Microlepia marginata</i>				
		ワラビ		<i>Pteridium aquilinum var. latiusculum</i>				
	ミズワラビ	クジャクシダ		<i>Adiantum pedatum</i>				
		イワガネゼンマイ		<i>Coniogramme intermedia</i>				
	イノモトソウ	オオバノイノモトソウ		<i>Pteris cretica</i>				
	オシダ	オニカナワラビ		<i>Arachniodes simplicior var. major</i>				
		リョウメンシダ		<i>Arachniodes standishii</i>				
		ヤブソテツ		<i>Cyrtomium fortunei</i>				
		ヤマヤブソテツ		<i>Cyrtomium fortunei var. clivicola</i>				
		ベニシダ		<i>Dryopteris erythrosora</i>				
		クマワラビ		<i>Dryopteris lacera</i>				
		オクマワラビ		<i>Dryopteris uniformis</i>				
		ヤマイタチシダ		<i>Dryopteris varia var. setosa</i>				
		イノデ		<i>Polystichum polyblepharum</i>				
		サカゲイノデ		<i>Polystichum retroso-paleaceum</i>				
		ジュウモンジシダ		<i>Polystichum tripterum</i>				
	ヒメシダ	ミゾシダ		<i>Stegnogramma pozoi ssp. mollissima</i>				
		ハリガネワラビ		<i>Thelypteris japonica</i>				
		ヒメワラビ		<i>Thelypteris torresiana var. calvata</i>				
	メシダ	イヌワラビ		<i>Athyrium niponicum</i>				
		ヤマイヌワラビ		<i>Athyrium vidalii</i>				
		シケチシダ		<i>Cornopteris decurrenti-alata</i>				
		キヨタキシダ		<i>Diplazium squamigerum</i>				
	ウラボシ	ノキシノブ		<i>Lepisorus thunbergianus</i>				
	種子植物 裸子植物	マツ	モミ	<i>Abies firma</i>				
アカマツ			<i>Pinus densiflora</i>					
スギ		スギ	<i>Cryptomeria japonica</i>					
ヒノキ		ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>					
イヌガヤ	イヌガヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>						
被子植物 双子葉植物 離弁花類	ヤナギ	シバヤナギ	<i>Salix japonica</i>					
	カバノキ	ヤシャブシ	<i>Alnus firma</i>					
		サワシバ	<i>Carpinus cordata</i>					
		クマシデ	<i>Carpinus japonica</i>					
		アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i>					
		イヌシデ	<i>Carpinus tschonoskii</i>					
		ツノハシバミ	<i>Corylus sieboldiana</i>					
	ブナ	クリ	<i>Castanea crenata</i>					
		イヌブナ	<i>Fagus japonica</i>					
		アラカシ	<i>Quercus glauca</i>					
		シラカシ	<i>Quercus myrsinaefolia</i>					
		コナラ	<i>Quercus serrata</i>					
	ニレ	エゾエノキ	<i>Celtis jessoensis</i>					
		エノキ	<i>Celtis sinensis var. japonica</i>					
		ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>					
	クワ	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia kazinoki</i>					
		ヤマグワ	<i>Morus australis</i>					

表 3-2 植物の確認状況 (2/7)

分類名	科名	和名	学名	春	夏	秋	備考
離弁花類 (続き)	イラクサ	クサコアカソ	<i>Boehmeria gracilis</i>				
		カラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> ssp. <i>nipponivea</i>				
		アオカラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> ssp. <i>Nipponivea</i> var. <i>concolor</i>				
		メヤブマオ	<i>Boehmeria platanifolia</i>				
		コアカソ	<i>Boehmeria spicata</i>				
		アカソ	<i>Boehmeria sylvestris</i>				
		ウワバミソウ	<i>Elatostema umbellatum</i> var. <i>majus</i>				
		ムカゴイラクサ	<i>Laportea bulbifera</i>				
		カテンソウ	<i>Nanocnide japonica</i>				
		ミズ	<i>Pilea hamaoi</i>				都B
		アオミズ	<i>Pilea pumila</i>				
	タデ	ミズヒキ	<i>Antenoron filiforme</i>				
		ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i> var. <i>laxiflora</i>				
		アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sieboldii</i>				
		ミソソバ	<i>Persicaria thunbergii</i>				
		イタドリ	<i>Reynoutria japonica</i>				
	ナデシコ	ミニナグサ	<i>Cerastium holosteoides</i> var. <i>angustifolium</i>				
		フシグロセンノウ	<i>Lychnis miqueliana</i>				
	ヒユ	ヒカゲイノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>				
	モクレン	ホオノキ	<i>Magnolia hypoleuca</i>				
		コブシ	<i>Magnolia praecocissima</i>				
	マツブサ	ピナンカズラ	<i>Kadsura japonica</i>				
		マツブサ	<i>Schisandra repanda</i>				
	クスノキ	ヤマコウバシ	<i>Lindera glauca</i>				
		ダンコウバイ	<i>Lindera obtusiloba</i>				
		クロモジ	<i>Lindera umbellata</i>				
		タブノキ	<i>Machilus thunbergii</i>				
		シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i>				
		アブラチャン	<i>Parabenzoin praecox</i>				
	フサザクラ	フサザクラ	<i>Euptelea polyandra</i>				
	キンボウゲ	サラシナショウマ	<i>Cimicifuga simplex</i>				
		ボタンツル	<i>Clematis apiifolia</i>				
		ハンショウツル	<i>Clematis japonica</i>				
		クサボタン	<i>Clematis stans</i>				
		センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>				
		キツネノボタン	<i>Ranunculus silerifolius</i>				
	メギ	メギ	<i>Berberis thunbergii</i>				
		ナンテン	<i>Nandina domestica</i>				
	アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>				
		ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i>				
	ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus orbiculatus</i>				
	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>				
	センリョウ	フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i>				
	マタタビ	サルナシ	<i>Actinidia arguta</i>				
		マタタビ	<i>Actinidia polygama</i>				
	ツバキ	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>				
		サカキ	<i>Cleyera japonica</i>				
ヒサカキ		<i>Eurya japonica</i>					
ケシ	ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i>					
	ミヤマキケマン	<i>Corydalis pallida</i> var. <i>tenuis</i>					
	タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i>					

都 B : 東京都レッドデータブックにおいて B ランクに指定される種

表 3-2 植物の確認状況 (3/7)

分類名	科名	和名	学名	春	夏	秋	備考	
離弁花類 (続き)	アブラナ	オオバタネツケバナ	<i>Cardamine scutata</i>					
		ユリワサビ	<i>Eutrema tenuis</i>					
		オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i>				帰	
		スカシタゴボウ	<i>Rorippa islandica</i>					
	ベンケイソウ	コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i>					
	ユキノシタ	トリアシショウマ	<i>Astilbe thunbergii</i> var. <i>congesta</i>					
		ヨゴレネコノメ	<i>Chrysosplenium macrostemon</i> var. <i>atrardrum</i>					
		ウツギ	<i>Deutzia crenata</i>					
		マルバウツギ	<i>Deutzia scabra</i>					
		コアジサイ	<i>Hydrangea hirta</i>					
		タマアジサイ	<i>Hydrangea involucrata</i>					
		ヤマアジサイ	<i>Hydrangea macrophylla</i> var. <i>acuminata</i>					
		ガクウツギ	<i>Hydrangea scandens</i>					
		ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i>					
		バラ	キンミズヒキ	<i>Agrimonia japonica</i>				
	ヘビイチゴ		<i>Duchesnea chrysantha</i>					
	ビワ		<i>Eriobotrya japonica</i>					
	ダイコンソウ		<i>Geum japonicum</i>					
	ヤマブキ		<i>Kerria japonica</i>					
	カマツカ		<i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>laevis</i>					
	ウワミズザクラ		<i>Prunus grayana</i>					
	ヤマザクラ		<i>Prunus jamasakura</i>					
	アズマイバラ		<i>Rosa luciae</i>					
	フユイチゴ		<i>Rubus buergeri</i>					
	クマイチゴ		<i>Rubus crataegifolius</i>					
	ミヤマフユイチゴ		<i>Rubus hakonensis</i>					
	クサイチゴ		<i>Rubus hirsutus</i>					
	ニガイチゴ		<i>Rubus microphyllus</i>					
	モミジイチゴ		<i>Rubus palmatus</i> var. <i>coptophyllus</i>					
	ナワシロイチゴ		<i>Rubus parvifolius</i>					
	コゴメウツギ		<i>Stephanandra incisa</i>					
	マメ		ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i>				
			ヤブマメ	<i>Amphicarpaea bracteata</i> ssp. <i>edgeworthii</i> var. <i>japonica</i>				
			ジャケツイバラ	<i>Caesalpinia decapetala</i> var. <i>japonica</i>				
		フジカンソウ	<i>Desmodium oldhamii</i>					
		アレチヌスビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i>				帰	
		ヌスビトハギ	<i>Desmodium podocarpium</i> ssp. <i>oxyphyllum</i>					
		ノササゲ	<i>Dumasia truncata</i>					
		キハギ	<i>Lespedeza buergeri</i>					
		クズ	<i>Pueraria lobata</i>					
		フジ	<i>Wisteria floribunda</i>					
	カタバミ	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>					
	フウロソウ	ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>					
	トウダイグサ	ナツトウダイ	<i>Euphorbia sieboldiana</i>					
		アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>					
		シラキ	<i>Sapium japonicum</i>					
	ミカン	マツカゼソウ	<i>Boenninghausenia japonica</i>					
		コクサギ	<i>Orixa japonica</i>					
		ミヤマシキミ	<i>Skimmia japonica</i>					
		カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i>					

帰：帰化種

表 3-2 植物の確認状況 (4/7)

分類名	科名	和名	学名	春	夏	秋	備考
離弁花類 (続き)	ミカン(続き)	フユザンショウ	<i>Zanthoxylum armatum</i> var. <i>subtrifoliatum</i>				
		サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i>				
		イヌザンショウ	<i>Zanthoxylum schinifolium</i>				
	ニガキ	ニガキ	<i>Picrasma quassioides</i>				
	ウルシ	ツタウルシ	<i>Rhus ambigua</i>				
		ヌルデ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>roxburgii</i>				
		ヤマウルシ	<i>Rhus trichocarpa</i>				
	カエデ	チドリノキ	<i>Acer carpinifolium</i>				
		ウリカエデ	<i>Acer crataegifolium</i>				
		ウラゲエンコウカエデ	<i>Acer mono</i> f. <i>connivens</i>				
		エンコウカエデ	<i>Acer mono</i> f. <i>marmoratum</i>				
		オニイタヤ	<i>Acer mono</i> var. <i>ambiguum</i>				
		イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i>				
	アワブキ	アワブキ	<i>Meliosma myriantha</i>				
		ミヤマハハソ	<i>Meliosma tenuis</i>				
	ツリフネソウ	ツリフネソウ	<i>Impatiens textori</i>				
	モチノキ	イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i>				
		タラヨウ	<i>Ilex latifolia</i>				
		アオハダ	<i>Ilex macropoda</i>				
	ニシキギ	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i>				
		コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> f. <i>ciliato-dentatus</i>				
		マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>				
	ミツバウツギ	ゴンズイ	<i>Euscaphis japonica</i>				
		ミツバウツギ	<i>Staphylea bumalda</i>				
	クロウメモドキ	クマヤナギ	<i>Berchemia racemosa</i>				
		ケンボナシ	<i>Hovenia dulcis</i>				
	ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>				
		キレハノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i> f. <i>citrulloides</i>				
		エビツル	<i>Vitis ficifolia</i> var. <i>lobata</i>				
		サンカクヅル	<i>Vitis flexuosa</i>				
	グミ	ツルグミ	<i>Elaeagnus glabra</i>				
	スミレ	ナガバノスミレサイシン	<i>Viola bissetii</i>				
		エイザンスミレ	<i>Viola eizanensis</i>				
		タチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i>				
		アオイスミレ	<i>Viola hondoensis</i>				
		ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i>				
	キブシ	キブシ	<i>Stachyurus praecox</i>				
	シュウカイドウ	シュウカイドウ	<i>Begonia evansiana</i>				帰
	ウリ	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i>				
		スズメウリ	<i>Melothria japonica</i>				
	ミソハギ	キカシグサ	<i>Rotala indica</i> var. <i>uliginosa</i>				
	アカバナ	タニタデ	<i>Circaea erubescens</i>				
		ミズタマソウ	<i>Circaea mollis</i>				
		アレチマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i> agg.				帰
	ウリノキ	ウリノキ	<i>Alangium platanifolium</i> var. <i>trilobum</i>				
	ミズキ	アオキ	<i>Aucuba japonica</i>				
		ミズキ	<i>Cornus controversa</i>				
ハナイカダ		<i>Helwingia japonica</i>					
ウコギ	タラノキ	<i>Aralia elata</i>					
	キツタ	<i>Hedera rhombea</i>					

帰：帰化種

表 3-2 植物の確認状況 (5/7)

分類名	科名	和名	学名	春	夏	秋	備考
離弁花類 (続き)	ウコギ(続き)	ハリギリ	<i>Kalopanax pictus</i>				
		トチバニンジン	<i>Panax japonicus</i>				
	セリ	シラネセンキュウ	<i>Angelica polymorpha</i>				
		シシウド	<i>Angelica pubescens</i>				
		セントウソウ	<i>Chamaele decumbens</i>				
		ミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i>				
		ミヤマチドメ	<i>Hydrocotyle yabei</i>				
		ヤブニンジン	<i>Osmorhiza aristata</i>				
		ヤマゼリ	<i>Ostericum sieboldii</i>				
ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i>						
合弁花類	リョウブ	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>				
	イチヤクソウ	イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i>				
	ツツジ	ネジキ	<i>Lyonia ovalifolia</i> var. <i>elliptica</i>				
		アセビ	<i>Pieris japonica</i>				
		ヤマツツジ	<i>Rhododendron obtusum</i> var. <i>kaempferi</i>				
		バイカツツジ	<i>Rhododendron semibarbatum</i>				
		トウゴクミツバツツジ	<i>Rhododendron wadanum</i>				
	ヤブコウジ	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i>				
		ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i>				
	サクラソウ	オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i>				
		コナスビ	<i>Lysimachia japonica</i> f. <i>subsessilis</i>				
	カキノキ	カキノキ	<i>Diospyros kaki</i>				
	エゴノキ	オオバアサガラ	<i>Pterostyrax hispidus</i>				
		エゴノキ	<i>Styrax japonicus</i>				
	ハインキ	サワフタギ	<i>Symplocos chinensis</i> var. <i>leucocarpa</i> f. <i>pilosa</i>				
	モクセイ	コバトネリコ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> f. <i>serrata</i>				
		イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i>				
	リンドウ	ツルリンドウ	<i>Tripterospermum japonicum</i>				
	キョウチクトウ	テイカカズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> f. <i>intermedium</i>				
	ガガイモ	オオカモメヅル	<i>Tylophora aristolochioides</i>				
	アカネ	ヤマムグラ	<i>Galium pogonanthum</i>				
		ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>				
		ハシカグサ	<i>Hedyotis lindleyana</i> var. <i>hirsuta</i>				
		ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i>				
		アカネ	<i>Rubia argyi</i>				
	ムラサキ	ヤマハリソウ	<i>Omphalodes japonica</i>				
		キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>				
	クマツツラ	ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i>				
		ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i>				
		クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>				
	シソ	キランソウ	<i>Ajuga decumbens</i>				
		イヌトウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i>				
		ナギナタコウジュ	<i>Elsholtzia ciliata</i>				
		カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> var. <i>grandis</i>				
		ラショウモンカズラ	<i>Meehania urticifolia</i>				
		ヤマハッカ	<i>Rabdosia inflexa</i>				
アキチョウジ		<i>Rabdosia longituba</i>					
アキノタムラソウ	<i>Salvia japonica</i>						
ゴマノハグサ	クワガタソウ	<i>Veronica miqueliana</i>					
キツネノマゴ	ハグロソウ	<i>Peristrophe japonica</i> var. <i>subrotunda</i>					
イワタバコ	イワタバコ	<i>Conandron ramondioides</i>					

表 3-2 植物の確認状況 (6/7)

分類名	科名	和名	学名	春	夏	秋	備考
合弁花類 (続き)	ハエドクソウ	ハエドクソウ	<i>Phryma leptostachya</i> ssp. <i>asiatica</i>				
	オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i>				
	スイカズラ	ツクバネウツギ	<i>Abelia spathulata</i>				
		ヤマウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i>				
		スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>				
		ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i>				
		ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>				
		ヤブデマリ	<i>Viburnum plicatum</i> var. <i>tomentosum</i>				
		ミヤマガマズミ	<i>Viburnum wrightii</i>				
		ニシキウツギ	<i>Weigela decora</i>				
	オミナエシ	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>				
	キキョウ	ツルニンジン	<i>Codonopsis lanceolata</i>				
	キク	ノブキ	<i>Adenocaulon himalaicum</i>				
		キッコウハグマ	<i>Ainsliaea apiculata</i>				
		オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>				帰
		ヨモギ	<i>Artemisia princeps</i>				
		シロヨメナ	<i>Aster ageratoides</i> ssp. <i>leiophyllus</i>				
		ノコンギク	<i>Aster ageratoides</i> ssp. <i>ovatus</i>				
		シラヤマギク	<i>Aster scaber</i>				
		アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>				帰
		モミジガサ	<i>Cacalia delphinifolia</i>				
		ヤブタバコ	<i>Carpesium abrotanoides</i>				
		トネアザミ	<i>Cirsium nipponicum</i> var. <i>incomptum</i>				
		オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i>				帰
		ベニバナボロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i>				帰
		ダントボロギク	<i>Erechtites hieracifolia</i>				帰
		ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>				帰
		ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>				帰
		ヒヨドリバナ	<i>Eupatorium chinense</i> var. <i>oppositifolium</i>				
		ハキダメギク	<i>Galinsoga ciliata</i>				帰
		ウラジロチチコグサ	<i>Gnaphalium spicatum</i>				帰
		オオジシバリ	<i>Ixeris debilis</i>				
		ニガナ	<i>Ixeris dentata</i>				
		ユウガギク	<i>Kalimeris pinnatifida</i>				
		ムラサキニガナ	<i>Lactuca sororia</i>				
		センボンヤリ	<i>Leibnitzia anandria</i>				
		ナガバノコウヤボウキ	<i>Pertya glabrescens</i>				
		カシワバハグマ	<i>Pertya robusta</i>				
		コウヤボウキ	<i>Pertya scandens</i>				
		フキ	<i>Petasites japonicus</i>				
		シュウブソウ	<i>Rhynchospermum verticillatum</i>				
サワギク		<i>Senecio nikoensis</i>					
メナモミ		<i>Siegesbeckia orientalis</i> ssp. <i>pubescens</i>					
セイトカアワダチソウ		<i>Solidago altissima</i>				帰	
アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> var. <i>asiatica</i>						
ヒメジョオン	<i>Stenactis annuus</i>				帰		
ヤブレガサ	<i>Syneilesis palmata</i>						
セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>				帰		
ヤクシソウ	<i>Youngia denticulata</i>						
オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i>						

帰：帰化種

表 3-2 植物の確認状況 (7/7)

分類名	科名	和名	学名	春	夏	秋	備考
単子葉植物	ユリ	ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i>				
		チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i>				
		オオバギボウシ	<i>Hosta montana</i>				
		ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i>				
		ウバユリ	<i>Lilium cordatum</i>				
		ヤブラン	<i>Liriope muscari</i>				
		ナガバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon ohwii</i>				
		オオバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon planiscapus</i>				
		ナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i>				
		ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i>				
		サルトリイバラ	<i>Smilax china</i>				
		タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i>				
		シオデ	<i>Smilax riparia var. ussuriensis</i>				
		ヤマカシユウ	<i>Smilax sieboldii</i>				
		ヤマジノホトギス	<i>Tricyrtis affinis</i>				
		ヤマホトギス	<i>Tricyrtis macropoda</i>				
		ヒガンバナ	キツネノカミソリ	<i>Lycoris sanguinea</i>			
	ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>				
		オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>				
	ツユクサ	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>				
		ヤブミョウガ	<i>Pollia japonica</i>				
	イネ	カモジグサ	<i>Agropyron tsukushiense var. transiens</i>				
		コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>				
		ノガリヤス	<i>Calamagrostis arundinacea var. brachytricha</i>				
		ヒメノガリヤス	<i>Calamagrostis hakonensis</i>				
		メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>				
		オニウシノケグサ	<i>Festuca arundinacea</i>				帰
		ササクサ	<i>Lophatherum gracile</i>				
		アシボソ	<i>Microstegium vimineum var. polystachyum</i>				
		ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>				
		ケチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i>				
		コチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius var. japonicus</i>				
		ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i>				
		スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>				
		ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i>				
		アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>				
	サトイモ	マムシグサ	<i>Arisaema serratum</i>				
	カヤツリグサ	ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i>				
		ナルコスゲ	<i>Carex curvicolis</i>				
		ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i>				
		ナキリスゲ	<i>Carex lenta</i>				
		カンスゲ	<i>Carex morrowii</i>				
		コカンスゲ	<i>Carex reinii</i>				
	ラン	シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i>				
		クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i>				
		コクラン	<i>Liparis nervosa</i>				
		オオバトソウ	<i>Platanthera minor</i>				
		カヤラン	<i>Sarcochilus japonicus</i>				
		ヒトツボクロ	<i>Tipularia japonica</i>				都A

帰：帰化種

都A：東京都レッドデータブックにおいてAランクに指定される種

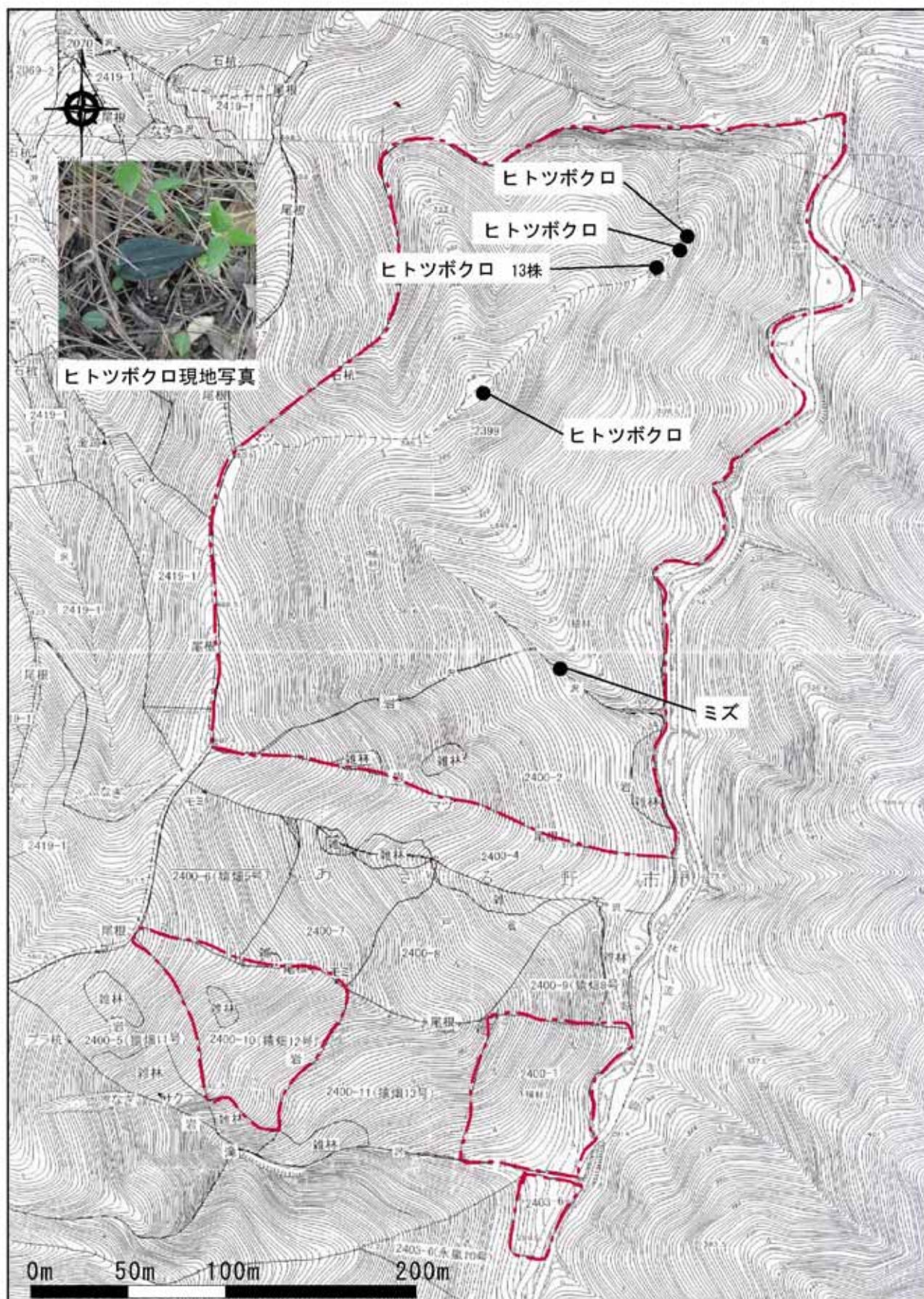


図 3-1 植物重要種 確認位置

3-1-2 希少植物移植

作業道路や東屋等設置の地形改変により、影響を受ける恐れがある希少植物を一時的に避難させるために、移植作業を実施した。

実施日：平成 19 年 4 月 15 日（移植すべき希少植物の確認調査）

：平成 19 年 5 月 4 日、5 月 5 日（移植作業）

移植の対象とした希少植物は、東京都レッドデータブック A ランクに指定されるヒトツボクロ及び「みなと区民の森」内において希少性が高いと考えられるイチヤクソウ、コクラン、シュンランを対象とした。

避難させた希少植物は、現在、生育地と同様の環境に借り置きしており、生育状況は良好である（平成 19 年 10 月 6 日時点）。

将来的に森への再移植を予定している。

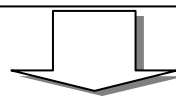


写真 移植作業の実施状況

3-2. 動物調査

3-2-1 哺乳類

5目8科12種の哺乳類が確認された。哺乳類の確認状況を表3-3に示す。

哺乳類の確認位置を図3-2に示す。

重要種として、ニホンリス、テン、イタチ、アナグマ、イノシシが確認された。

確認された哺乳類の特徴を以下に整理する。

- ・確認された哺乳類は、東日本の低山帯に生息する種である。
- ・特徴的な種としては、ニホンリス、ムササビが挙げられる。ニホンリスは、尾根沿いのアカマツ（松の実）を採食し、ムササビも尾根沿いのアカマツ、モミの大径木を巣として利用している。
- ・その他の種は、樹林全体に分布しており、特にノウサギ、タヌキ、テン等の中型哺乳類は調査範囲内を広く移動しながら生活しているものと考えられる。

表 3-3 哺乳類の確認状況

目名	科名	和名	学名	確認				確認方法	RDB等指定
				春	夏	秋	冬		
モグラ目	モグラ科	ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i>					坑道	
ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>					糞 自動撮影	
ネズミ目	リス科	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>					食痕	都C
		ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i>					目視 巣穴	
	ネズミ科	アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>					トラップ	
ネコ目	イヌ科	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>					ため糞 自動撮影	
		キツネ	<i>Vulpes vulpes japonica</i>					古巣	
	イタチ科	テン	<i>Martes melampus melampus</i>					糞	都C
		イタチ	<i>Mustela itatsi itatsi</i>					目視	都C
		アナグマ	<i>Meles meles</i>					自動撮影	都C
ジャコウネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>					糞		
ウシ目	イノシシ科	イノシシ	<i>Sus leucomystax</i>					足跡 糞 堀跡	都C
5目8科12種				11	3	0	4		

都C：東京都レッドデータブックにおいてCランクに指定される種

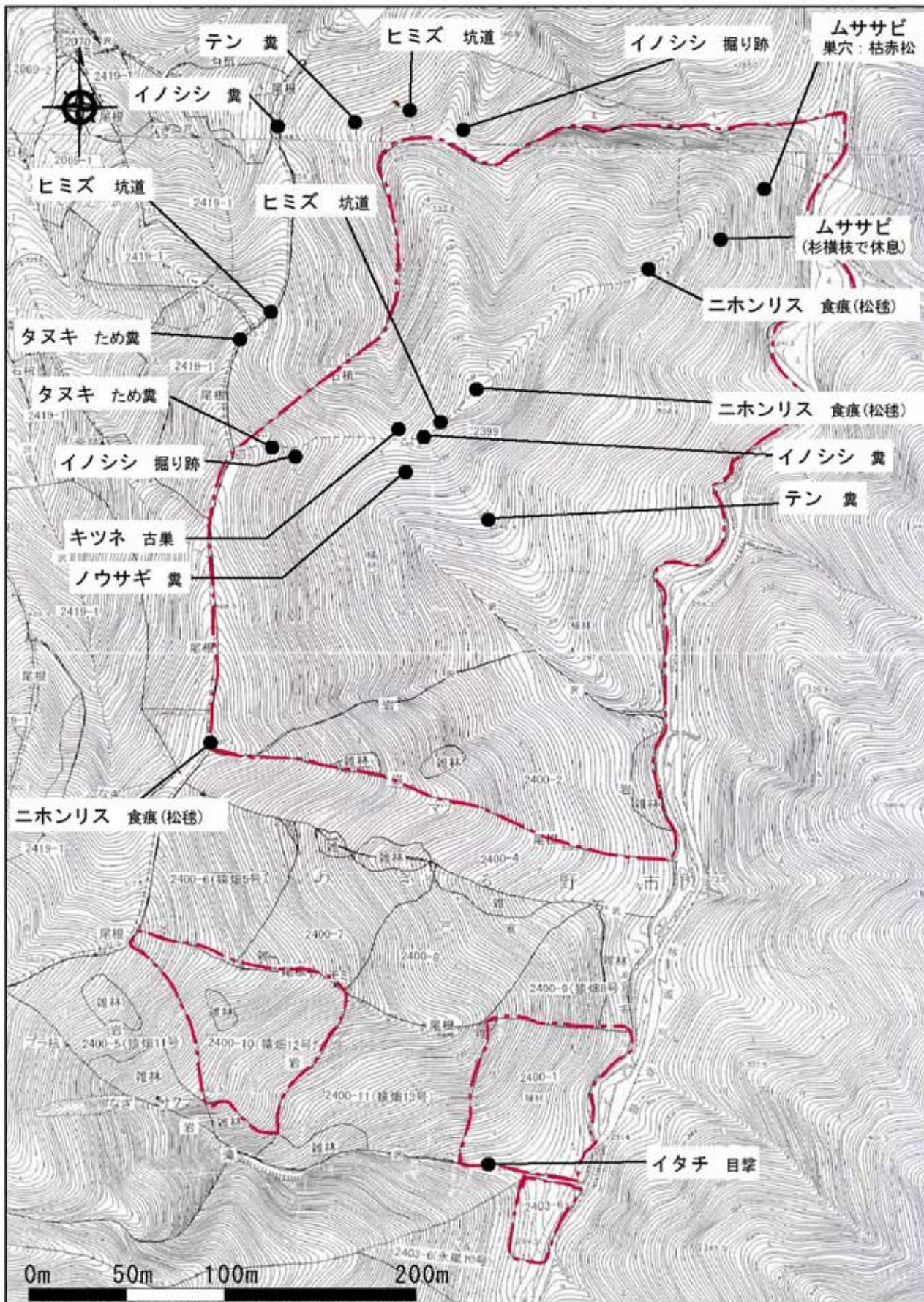


図3-2 哺乳類 確認位置(春)

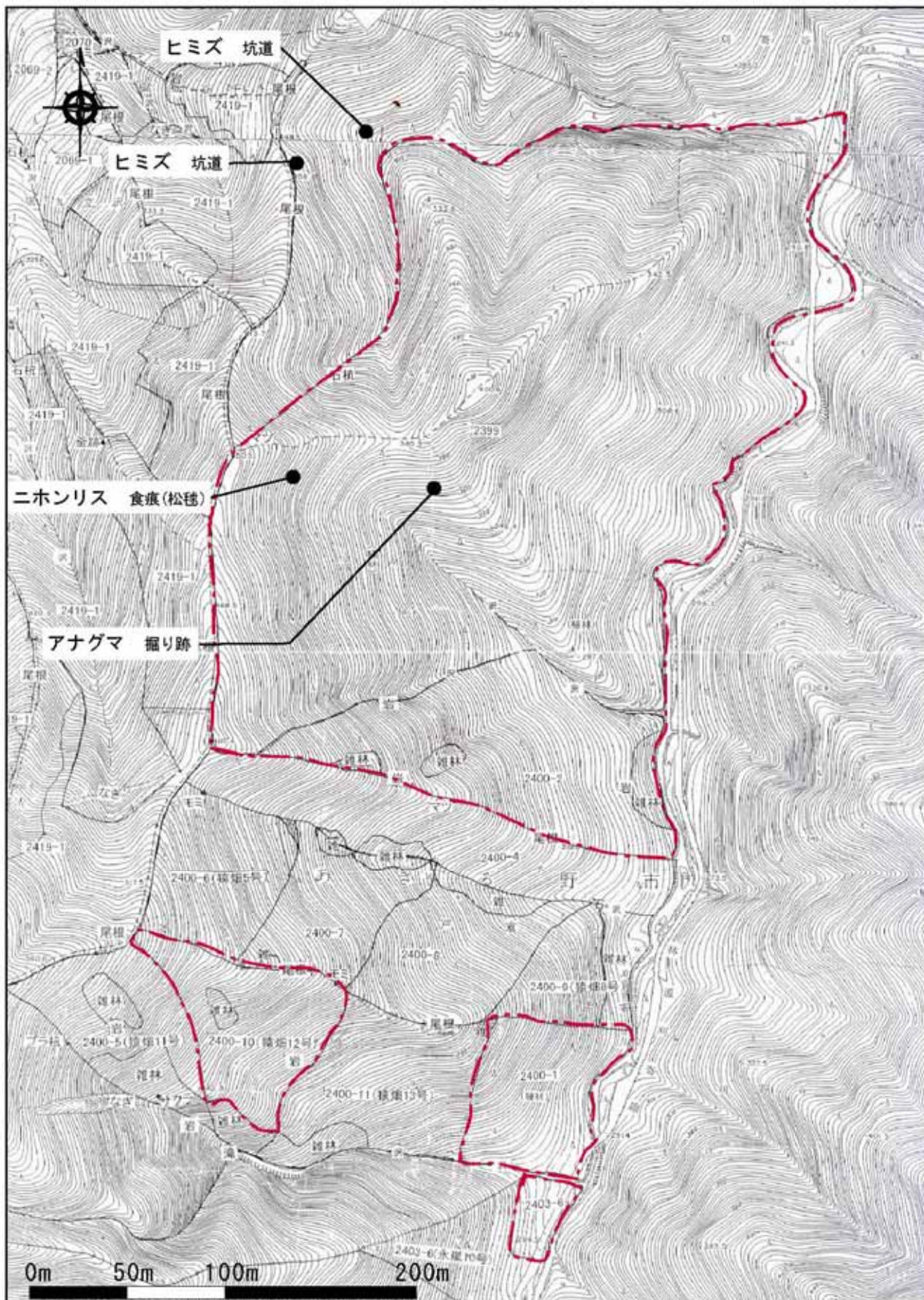


図 3-2 哺乳類 確認位置 (夏)

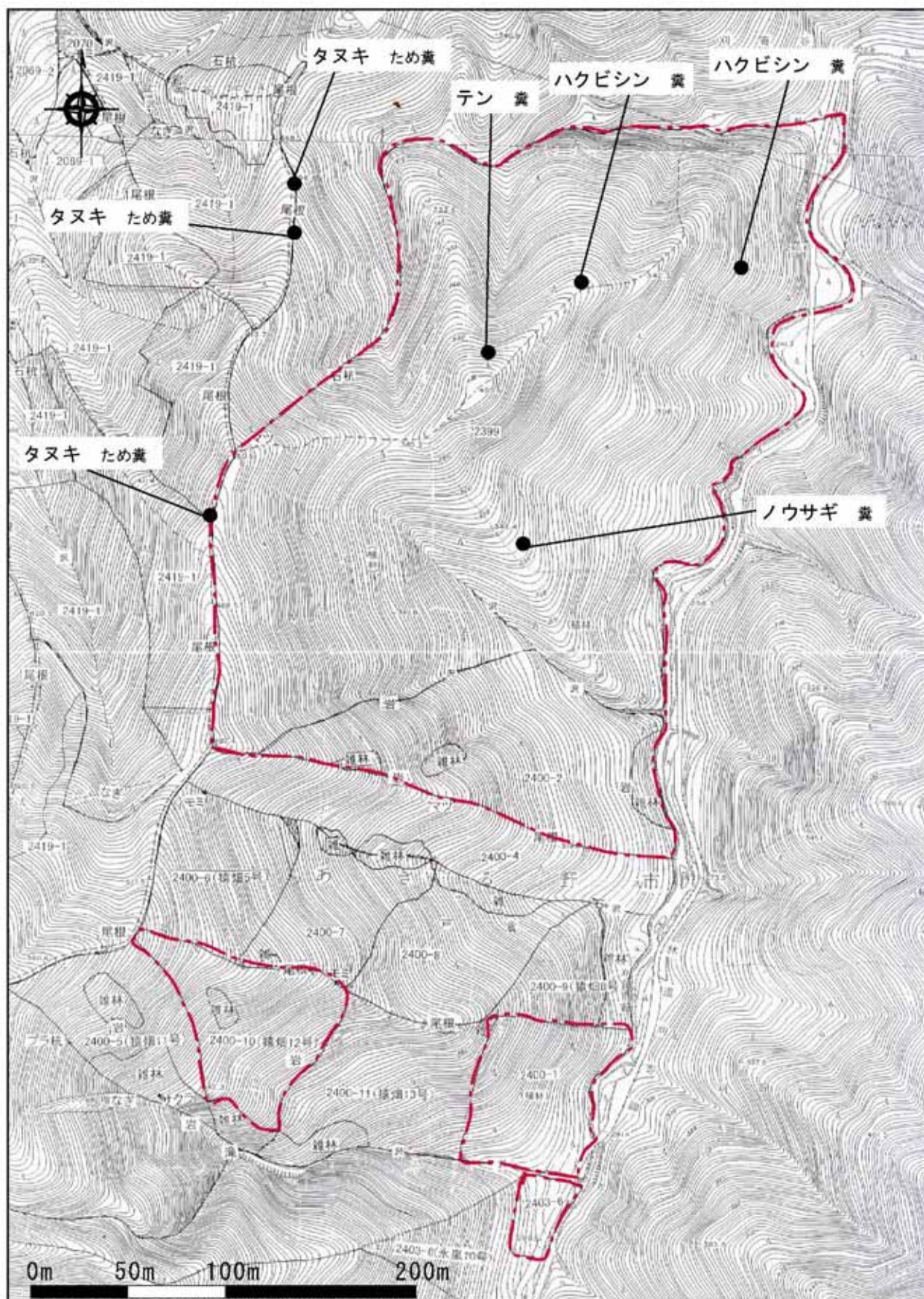


図3-2 哺乳類 確認位置(冬)

3-2-2 鳥類

(1) 一般鳥類

通年で7目22科40種の鳥類が確認された。鳥類の確認状況を表3-4に示す。

重要種として、ミゾゴイ、サシバが確認された。事業実施区域の周辺(隣接地)では、フクロウ、コミミズク、サンコウチョウが確認されている。

重要種の確認位置を図3-3に示す。

確認された鳥類の特徴を以下に整理する。

- ・確認種は、純森林性種が60%近くを占める。水域周辺性種もミゾゴイ、カワガラス、ミソサザイが確認されており山地の溪流に生息するが多く確認されている。確認種のほとんどが樹林に依存する種である。(図3-4)。
- ・優占種を表3-5に示す。主にヒヨドリ、メジロ、シジュウカラが優占種として確認され、樹林への依存性が高い種が優占する状況が確認されている。
- ・冬季の確認種数、確認個体数は少なく、植林のため餌となる植物の種子が少ないことが要因と考えられる。

表3-5 優占種一覧

ラインセンサス		スポット(St.1)		スポット(St.2)		スポット(St.3)		スポット(St.4)		スポット(St.5)	
優占種	確認数	優占種	確認数	優占種	確認数	優占種	確認数	優占種	確認数	優占種	確認数
ヒヨドリ	31	ヒヨドリ	10	メジロ	8	ヒヨドリ	7	シジュウカラ	6	ヒヨドリ	6
シジュウカラ	27	メジロ	6	ヒヨドリ	7	メジロ	4	ヒヨドリ	5	メジロ	4
ホオジロ	12	ヤマガラ	5	ウグイス	5	シジュウカラ	4	メジロ	4	シジュウカラ	2
メジロ	11	ガビチョウ	5	キジバト	4			ウグイス	3	ガビチョウ	2
カケス	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

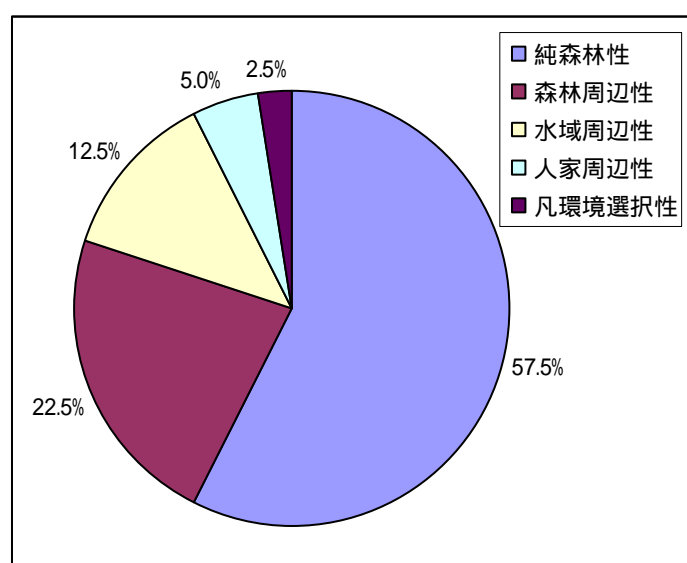


図3-4 確認種の生息環境区分割合(種数)

表 3-4 鳥類の確認状況

科名	科名	種名	渡り区分	環境区分	春	夏	秋	冬	RDB等指定	備考	
コウノトリ目	サギ科	ミゾゴイ	夏鳥	水域周辺性					国 B/都B		
		アオサギ	留鳥	水域周辺性							
タカ目	タカ科	オオタカ	留鳥	純森林性					国準絶滅/都B	隣接地	
		ノスリ	留鳥	森林周辺性					都B	隣接地	
		サシバ	夏鳥	森林周辺性					国 類/都B		
ハト目	ハト科	キジバト	留鳥	森林周辺性							
		アオバト	留鳥	純森林性							
		ドバト	留鳥	人家周辺性							
カッコウ目	カッコウ科	ツツドリ	夏鳥	純森林性							
		ホトギス	夏鳥	純森林性							
フクロウ目	フクロウ科	コノハズク	夏鳥	純森林性					都C	隣接地	
		フクロウ	留鳥	純森林性					都C	隣接地	
キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ	留鳥	純森林性							
		アカゲラ	留鳥	純森林性							
		コゲラ	留鳥	純森林性							
スズメ目	ツバメ科	ツバメ	夏鳥	人家周辺性							
	セキレイ科	キセキレイ	留鳥	水域周辺性							
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	留鳥	森林周辺性							
	カワガラス科	カワガラス	留鳥	水域周辺性							
	ミソサザイ科	ミソサザイ	留鳥・漂鳥	水域周辺性							
	ツグミ科	コルリ	夏鳥	純森林性							
		クロツグミ	夏鳥	純森林性							
	チメドリ科	ガビチョウ	留鳥	純森林性					特定外来		
	ウグイス科	ヤブサメ	夏鳥	純森林性							
		ウグイス	留鳥	森林周辺性							
		エゾムシクイ	夏鳥	純森林性							
		センダイムシクイ	夏鳥	純森林性							
	ヒタキ科	キビタキ	夏鳥	純森林性							
		オオルリ	夏鳥	純森林性							
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	夏鳥	純森林性					都B	隣接地	
	エナガ科	エナガ	留鳥	森林周辺性							
	シジュウカラ科	ヒガラ	留鳥	純森林性							
		ヤマガラ	留鳥	純森林性							
		シジュウカラ	留鳥	森林周辺性							
	メジロ科	メジロ	留鳥	純森林性							
	ホオジロ科	ホオジロ	留鳥	森林周辺性							
		カシラダカ	冬鳥	森林周辺性							
	アトリ科	イカル	留鳥	純森林性							
	カラス科	カケス	留鳥	純森林性							
		ハシブトガラス	留鳥	凡環境選択性							
	7目 22科 40種					36	23	16	14		

*1) 国 B：環境省レッドリスト絶滅危惧 B類に指定される種
 国 類：環境省レッドリスト絶滅危惧 類に指定される種 国準絶滅：環境省レッドリスト準絶滅危惧に指定される種
 都B：東京都レッドデータブックにおいてBランクに指定される種
 都C：東京都レッドデータブックにおいてCランクに指定される種
 特定外来：外来生物法で、特定外来生物に指定される種
 *2) 隣接地は、事業実施区域外の周辺（隣接地）で確認されたもの

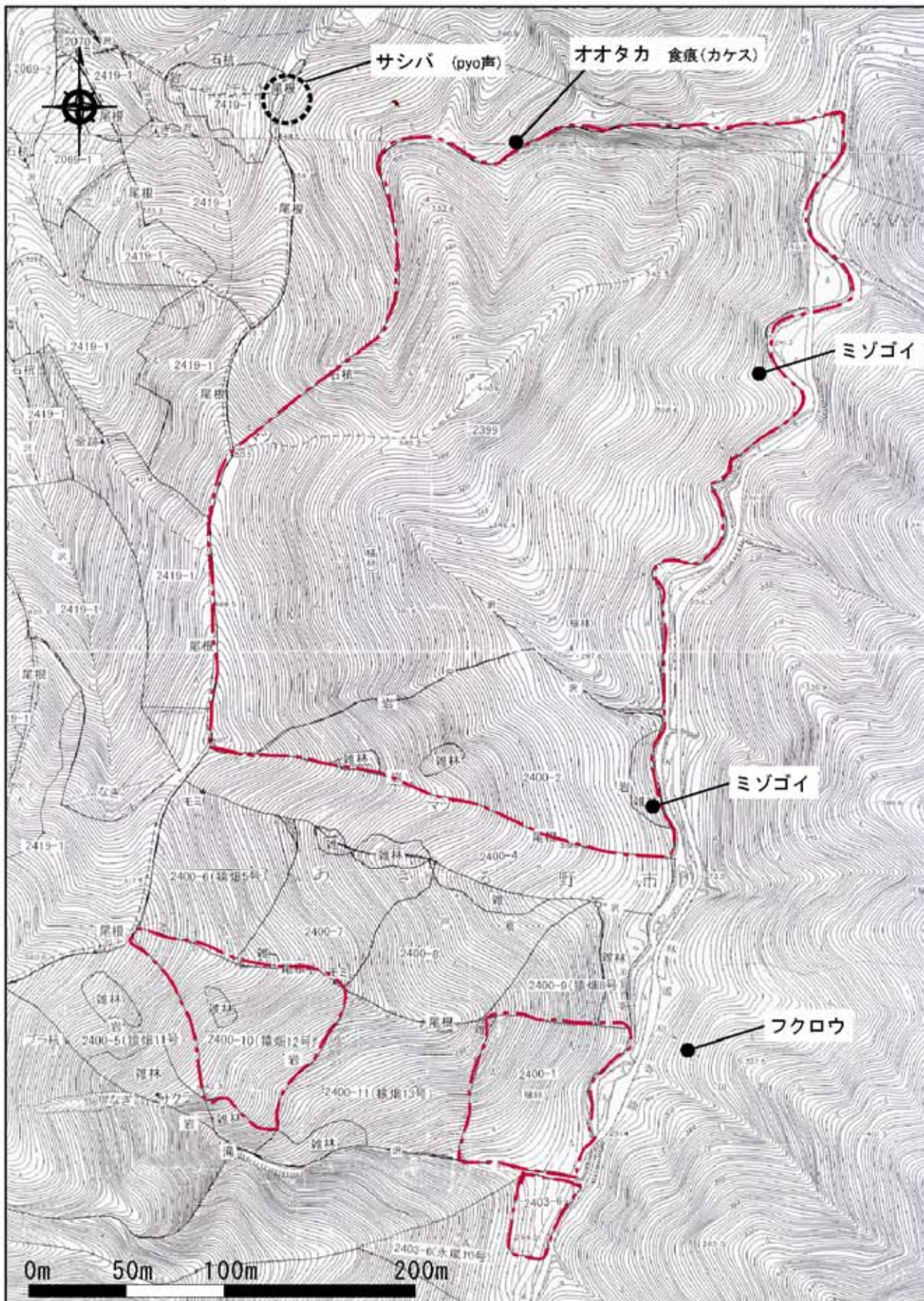


图 3-3 一般鳥類重要種 確認位置

(2) 猛禽類(オオタカ)

オオタカの確認状況

オオタカの確認回数を表 3-6 に示す。またオオタカの確認位置を図 3-4 に示す。

2007 年度のモニタリング調査により、みなと区民の森計画地の北西側においてオオタカの繁殖が確認された。

以下にオオタカの確認状況を示す。

・抱卵期～巣内育雛期(4月～5月)

鳴き交わしや警戒声などが林内より確認された。またエサ運びなども確認され、順調に育雛が行われていたと考えられる。

・巣内育雛期～巣外育雛期(6月～7月)

6月後期には営巣林を中心とした行動が頻繁に確認され、林内からの呼びかけ声やなき交わし等も観測された。

また営巣林周辺の林内消失や急降下消失などのデータが得られていることから、周辺での餌捕活動が示唆された。

・巣外育雛期後期(7月～8月)

この時期になると営巣林内で幼鳥との鳴き交わしも確認された。

・非繁殖期(9月～1月)

この時期になると確認数は減り、繁殖期のような営巣林付近の動きも減った。

メスのデータに関しては、鉄塔の長時間停留や、送電線沿いでの行動など営巣林から少し離れた地点で観察されることが多くなった。この時期のオスの確認データが十分でないため一概にはいえないが、オスと行動圏を異にしている可能性も示唆された。

・求愛、造巣期(2月～3月)

はっきりとした求愛行動、繁殖行動は調査時には確認できなかったが、営巣林付近に消失するデータが得られており、繁殖行動を開始していることも期待できた。

表 3-6 オオタカの確認状況 (1/3)

繁殖 ステ ージ	調査 日	調査 地点	時刻	年齢 性別	確認状況
抱卵期 巣内育雛期	2007/ 4/15	B	11:25 ~ 11:30	不明	継続的に呼びかけ声
			11:32 ~ 12:32	成	モミの樹冠に停留、付近を見渡す。呼びかけを継続的に発して、南東に降下し林内消失
			13:32 ~ 14:21	不明	継続的に呼びかけ声
			14:21 ~ 14:23	不明	継続的に警戒声
	5/20	B	9:26	不明	2羽同時出現。片方を追いかけるように東へ飛翔。
			10:57	不明	尾根すれすれを北に飛翔。林内消失?
			12:05 ~ (10秒)	成	中空を西方向にエサ運び(ムクドリサイズ)。林内消失。その後2分くらい継続的に呼びかけ声。
		D	8:34	不明	南東上空飛翔を確認。東へ向かい降下ロスト。
			9:16 ~ 9:17	成	北西方向羽ばたきと旋回を繰り返している個体を確認。城山付近を西へ飛翔。高度を下げて尾根向こうロスト。
巣内育雛期 巣外育雛期	6/2	B	9:06	不明	Pie 声
		C	9:06	不明	出現の直前N方向から呼びかけ声がし、その直後N林から2羽が飛び出す。
			9:06	不明	を追いかけるように北東へ羽ばたき飛翔
			10:22 ~ 10:23	成	旋回上昇を確認。高度 500m くらいに達し、北東に旋回しながら移動。
		移動	10:01 ~ 10:10	成	
			10:21 ~ 10:24	成	
	6/17	A	10:32 ~ 10:34	成	営巣林東で旋回上昇後南東へ滑翔。背面褐色に見える。
		B	10:21	成	N林から出てきて旋回した後滑翔しモミ林内へ入り消失。
			10:30	不明	N林近くへ南から滑翔し、モミ林へ入りロスト。
			11:20	成	N尾根上を飛んでいたトビにN方向から羽ばたき飛翔してつかかる、その後尾根へ降りて消失。
			12:15 ~ 12:18	不明	N林付近で継続的に鳴く。
			14:28 ~ 14:32	成	巣の周りで鳴き声がしていたら飛び出してきた。その後尾根上のモミの木の頂上に東向きに留まる。羽ばたき飛翔で飛び立ち樹林で見えなくなる。
		C	10:30(20秒)	成	N上空から旋回上昇。手前の鉄塔の柱に隠れて消失。その後地点Aで確認。上面褐色気味に見える。
			12:15 ~ 12:23	成	旋回上昇しながら西へながれる。高度 800m くらいに達し、南西方向へ滑翔。その後再び旋回し稜線を越えて消失。
			12:56 ~ 12:57	成	12:54 から断続的に呼びかけの音がし、その後N上で旋回しているのを確認。少しずつ東へ移動し、鉄塔の柱で消失。12:58 まで鳴き声は続く。
			14:48 ~ 14:54	成	
	移動	10:21 ~ 10:25	成	ピャーという鳴き声	
	7/8	B	9:00(10秒)	成	N林尾根上パーチ、その後尾根向こうに降下ロスト。
			11:50	幼	パーチしていたメスが降下ロストしたと同時に声。
			12:57	不	N林内で声
C		9:31 ~ 11:59	成	モミの樹冠に東向きにパーチ付近を見渡す。東向きに降下ロスト。	
		12:30	不明	N林から呼びかけ声	

表 3-6 オオタカの確認状況 (2/3)

繁殖 ステ ージ	調査 日	調査 地点	時刻	年齢 性別	確認状況
巢外 育雛 期	7/16	B	11:05 ~ 11:23	成	N谷の方で声を確認。その後谷の中で成を確認。東へ飛翔しSt. A付近まで飛翔した後南西へ旋回しつつ移動。刈寄山(629ピーク)の東側で旋回上昇を繰り返す。更に南西へ飛翔し、尾根向こうへロスト。
			11:52	幼、不明	st Bの北 404 ピークの北東側で声
			13:10 ~ 13:31	不明	N方向から声(ギー)
		C	14:48 ~ 14:54	成	モミの樹冠に北向きにパーチ。14:50 に南に向きをかえ、付近を見渡す。その後西に飛び立ち羽ばたき飛翔した後林内に消失。
8/25	C	14:33 ~ 14:34	不明	北西方向に羽ばたきながら旋回し空中で見失う。	
非 繁殖 期	9/18	B	14:37 ~ 16:00	成	鉄塔4に東向きにパーチし、羽づくろいした後付近を見渡す。調査終了のため観察を終える。(上面褐灰色。尾班の太さは普通だが後頭尾班目立たない)。
	10/21	A	9:49 ~ 11:02	成	5番鉄塔にパーチ。羽づくろいをする。11:02、目を放した際にロスト。
			11:20	不明	北西林内付近から数回鳴く声を確認
			11:15 ~ 11:33	成	5番鉄塔にパーチを確認、東向き。
		C	13:38 ~ 14:29	成	5番鉄塔頂部に留まり(北向き)13:41 送電線沿いに西へ羽ばたき飛翔。6番鉄塔付近で急降下。何かを追っていたようだが失敗。浮上し旋回飛翔しながら南東へ。西5番鉄塔にとまり、14:29 北西へ降下気味にロスト。
	D	15:23	成、不明	東方向に羽ばたき飛翔し、樹林でロスト。	
	12/23	A	11:44 ~ 13:16	成	城山の東斜面の枯木にパーチしているのを確認。ほとんど動かない。その後北へ飛び立ち回りこんで見えなくなる。
		B	13:10 ~ 13:14	成	Cが確認していた5番鉄塔の個体がパーチアウトした後南西方向へ飛翔。509ピークの尾根沿いの古木にパーチ。その後パーチアウトし、南東方向尾根向こうへ飛翔しロスト。
		C	11:39 ~ 13:10	成	鉄塔3にパーチし、周囲を見渡しながたまに羽づくろい。12:25 鉄塔5に移る。その後南西方向に飛び立ち手前尾根で消失 Bへ
		D	11:29	成	枯木に北向きに留まる。12:14 北側へ降下するように降りてそのまま尾根向こうにロスト。
	2008/ 1/27	B	10:58 ~ 11:04	不明	旋回上昇、800 ~ 900m。その後南東に降下。
			11:34 ~ 11:38	成	8鉄塔に停留を確認、南東向き。11:38南東方向に降下、すぐに手前の樹林にかくれ消失。
		C	12:49(5秒)	成、不明	323ピークの北側で旋回しているのを確認。手前の鉄柱によりロスト。
			13:12 ~ 13:14	成	350mくらいで確認し、旋回上昇しながら南西に流れる。400mくらいに達した後急降下し、手前の尾根影でロスト。
		D	8:53 ~ 8:54	若	地点東の上空 50mくらいを滑翔。はばたきをはじめ、地点の南を通り、向きを換え降下し林内へロスト。
13:54 ~ 13:57			成	地点東で旋回しているのを発見。左翼のP9かP8に欠損有り。旋回しつつ高度を上げ、西へ移動。城山の北側を飛翔し、手前の尾根で消失。	

表 3-6 オオタカの確認状況 (3/3)

繁殖 ステージ	調査 日	調査 地点	時刻	年齢 性別	確認状況
求愛、 造巣期	2/17	C	10:13 ~ 10:34	成	北東方向に飛翔し、391 ピークの枯木にパーチ。その後Nの南西にあるモミの木に東向きにパーチし、10:34 南へ飛び立ち林内消失。
			10:37 ~ 10:38	成	St. Cの西側から出現し、深い羽ばたきで東へ飛翔。東の尾根を越えて消失。
	3/8	A	8:03	不明	林内にて警戒声
			11:26 (5 秒)	不明	N林付近から警戒声
		D	9:53 ~ 9:59	成	城山北方から出現し、ゆっくりと羽ばたき旋回を繰り返し、高度を上げてN方向へ移動。トビと少し絡んだ後さらに高度を上げる。N付近上空で高度を下げ急降下ロスト。
			11:40 ~ 11:42	成、不明	北方上空で旋回を確認。南西方向へ飛翔し、手前の林にて視界を奪われロスト(城山方向へ向かった様子)。

オオタカ以外の猛禽類の確認状況

オオタカ以外の猛禽類は、ハチクマ、クマタカ、ハイタカ、ツミ、ノスリ、ハヤブサが確認された。確認位置を図 3-5 に示す。

猛禽類調査結果 まとめ

本調査地は地形の関係から、オオタカの行動全体を広く把握できる最適な調査地点が得られにくく、データも断片的なものが多かったが、年間を通してオオタカの行動をみると、大まかには生息状況の把握が実現された。

今回の調査によって得られた行動結果より、現時点ではこのペアが計画地である港区民の森に強く依存し、利用していることはないと考えられる。しかし計画地は営巣地に隣接しており、混交林化などの事業に伴い森が豊かになることで将来は狩場などとして有効に利用される可能性は十分考えられる。

オオタカ以外にもノスリ、ハチクマ、クマタカ、ツミ、ハイタカなどの猛禽類も確認されており、区民の森周辺の環境はオオタカ以外の猛禽類の生息にも重要なものであると考えられ、周辺環境のポテンシャルの高さが伺える。

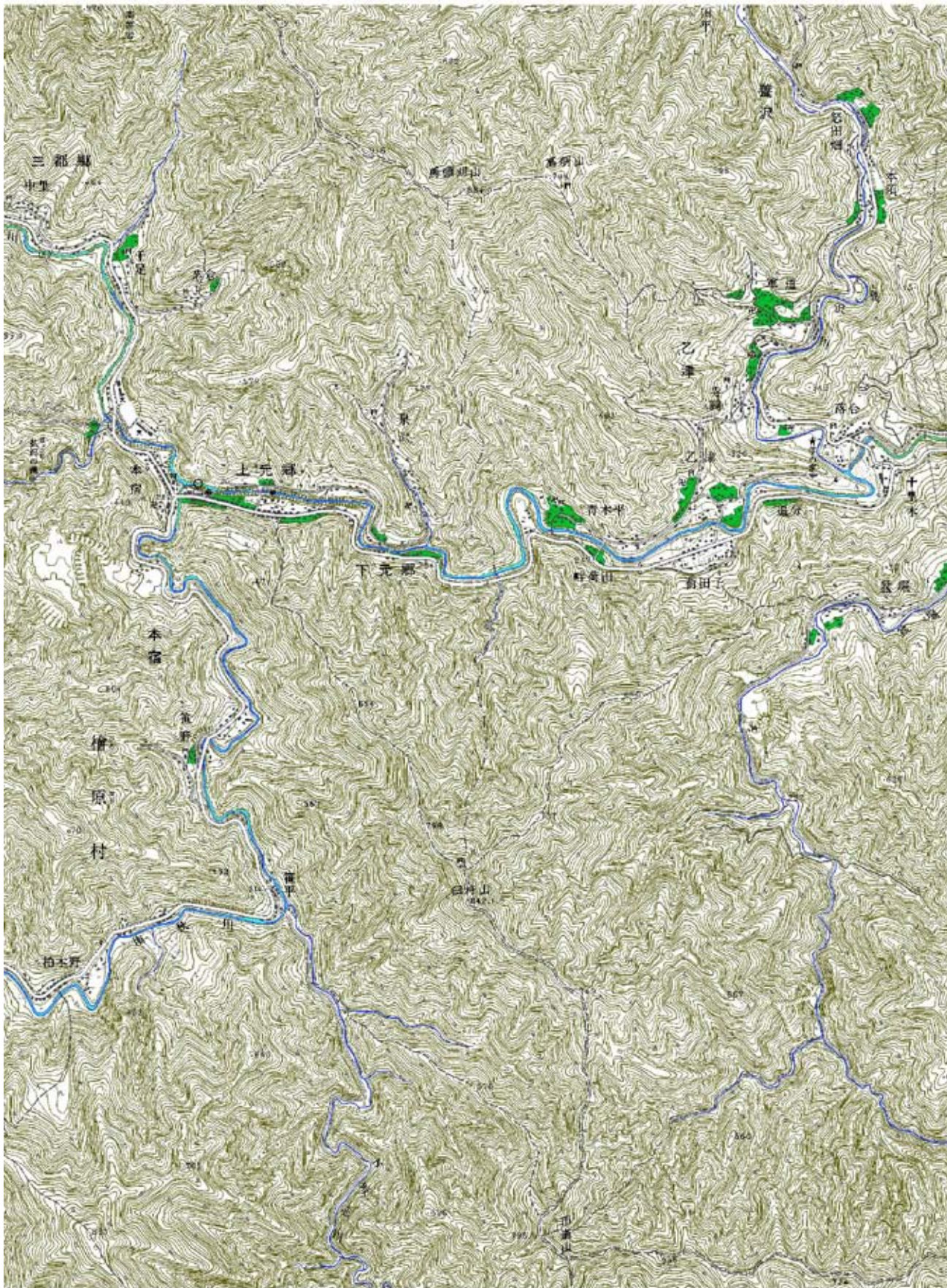


図3-4 オオタ力確認位置図 (H19非繁殖期)

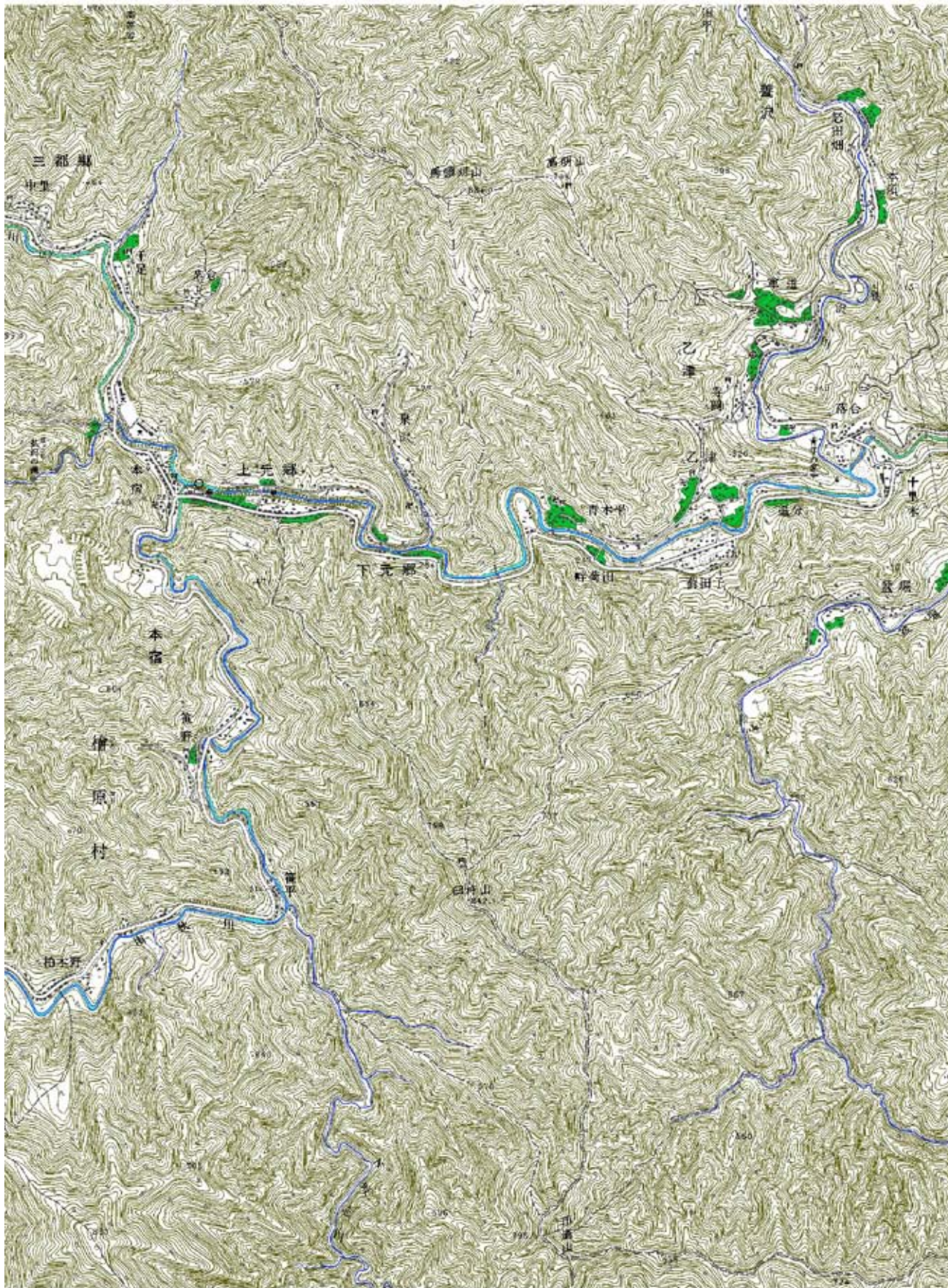


図3-4 オオタカ確認位置図 (H20繁殖期)

3-2-3 両生類・爬虫類

通年で2目5科9種の両生類・爬虫類が確認された。両生類・爬虫類の確認状況を表3-7に示す。

東日本の低山～亜高山帯に生息する種が主に確認されており、特に両生類では、刈寄谷川において渓流性のタゴガエル、ナガレタゴガエル、カジカガエルが確認された。

両性類・爬虫類の確認位置を図3-6に示す。

重要種としては、東京都レッドデータブックCランクに指定されるトカゲ、タカチホヘビ、シマヘビ、タゴガエル、ナガレタゴガエル、カジカガエルが確認されている。

表3-7 両生類・爬虫類の確認状況

目名	科名	和名	学名	RDB等 指定*1	確認状況	確認				備考
						春	夏	秋	冬	
トカゲ目	トカゲ科	トカゲ	<i>Eumeces latiscutatus</i>	都C	成体					
	ヘビ科	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>	都C	成体					
		シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	都C	抜け殻					
		ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus tigrinus</i>		成体					
	クサリヘビ科	マムシ	<i>Agkistrodon blomhoffii</i>		成体					
カエル目	アカガエル科	タゴガエル	<i>Rana tagoi tagoi</i>	都C	鳴声・産卵・亜成					
		ナガレタゴガエル	<i>Rana sakuraii</i>	都C	成体					
		ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>		亜成					
	アオガエル科	カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i>	都C	鳴き声					

*1) 都C：東京都レッドデータブックにおいてCランクに指定される種

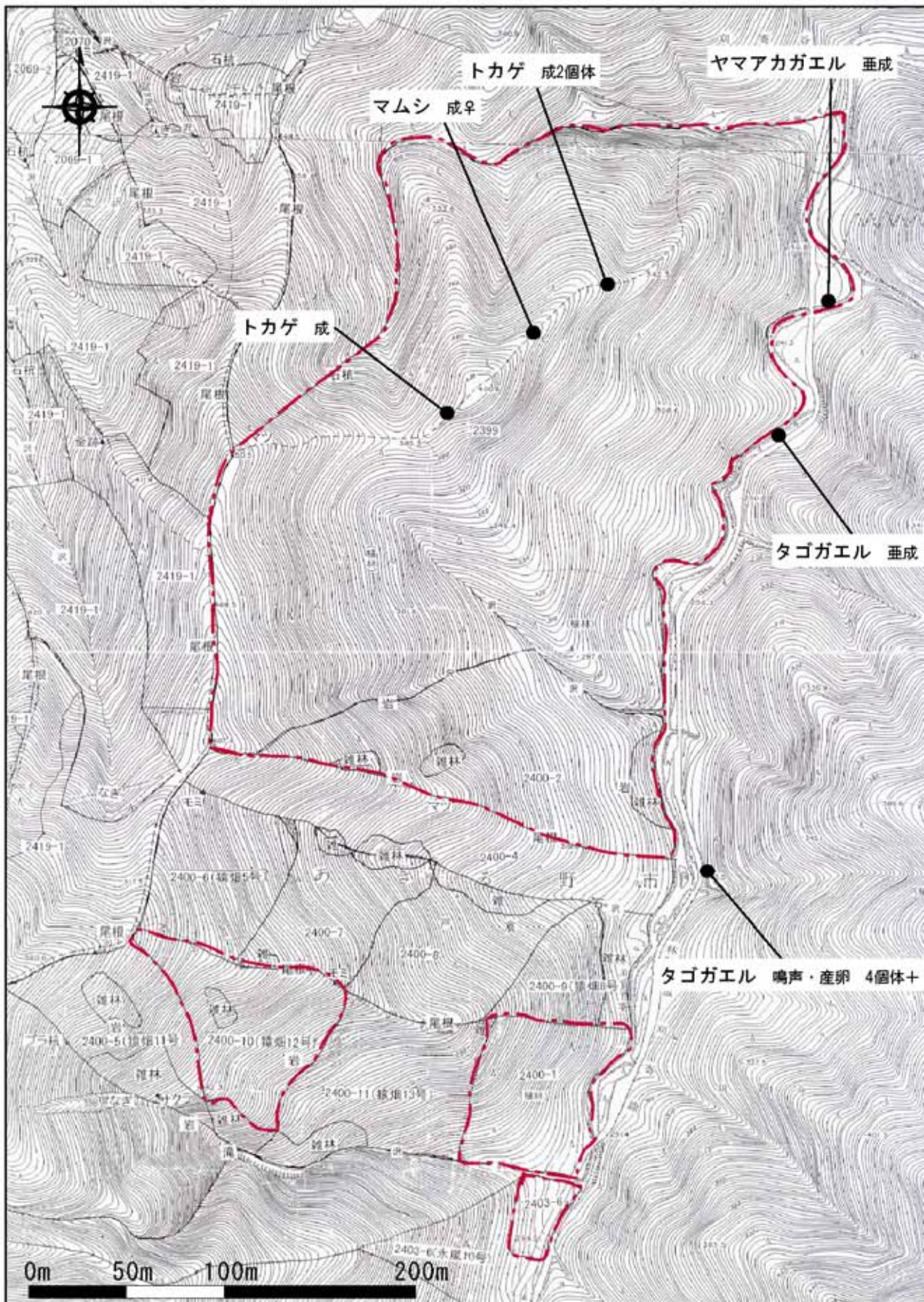


図3-6 両生・爬虫類 確認位置(春)

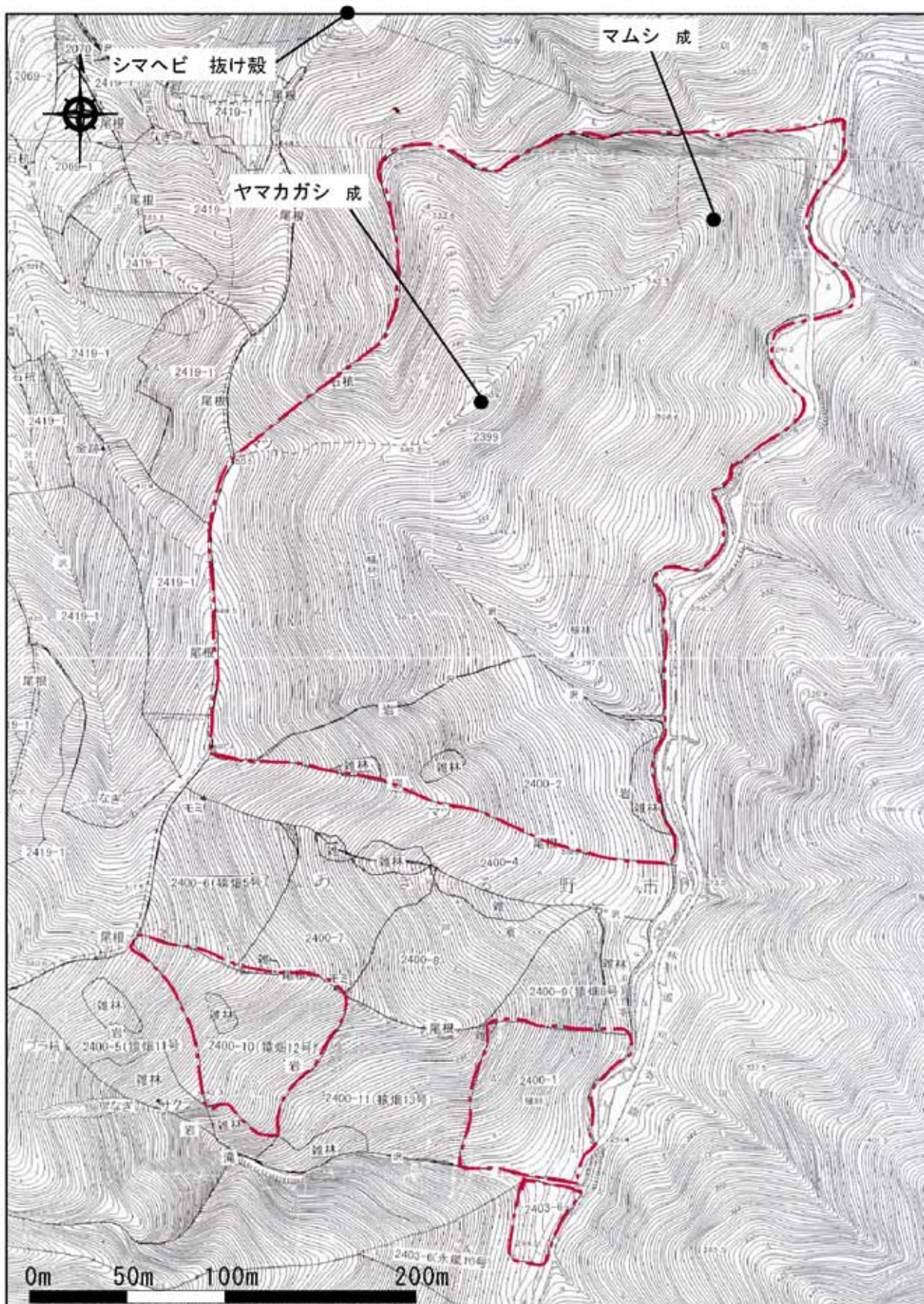


図3-6 両生・爬虫類 確認位置(夏)

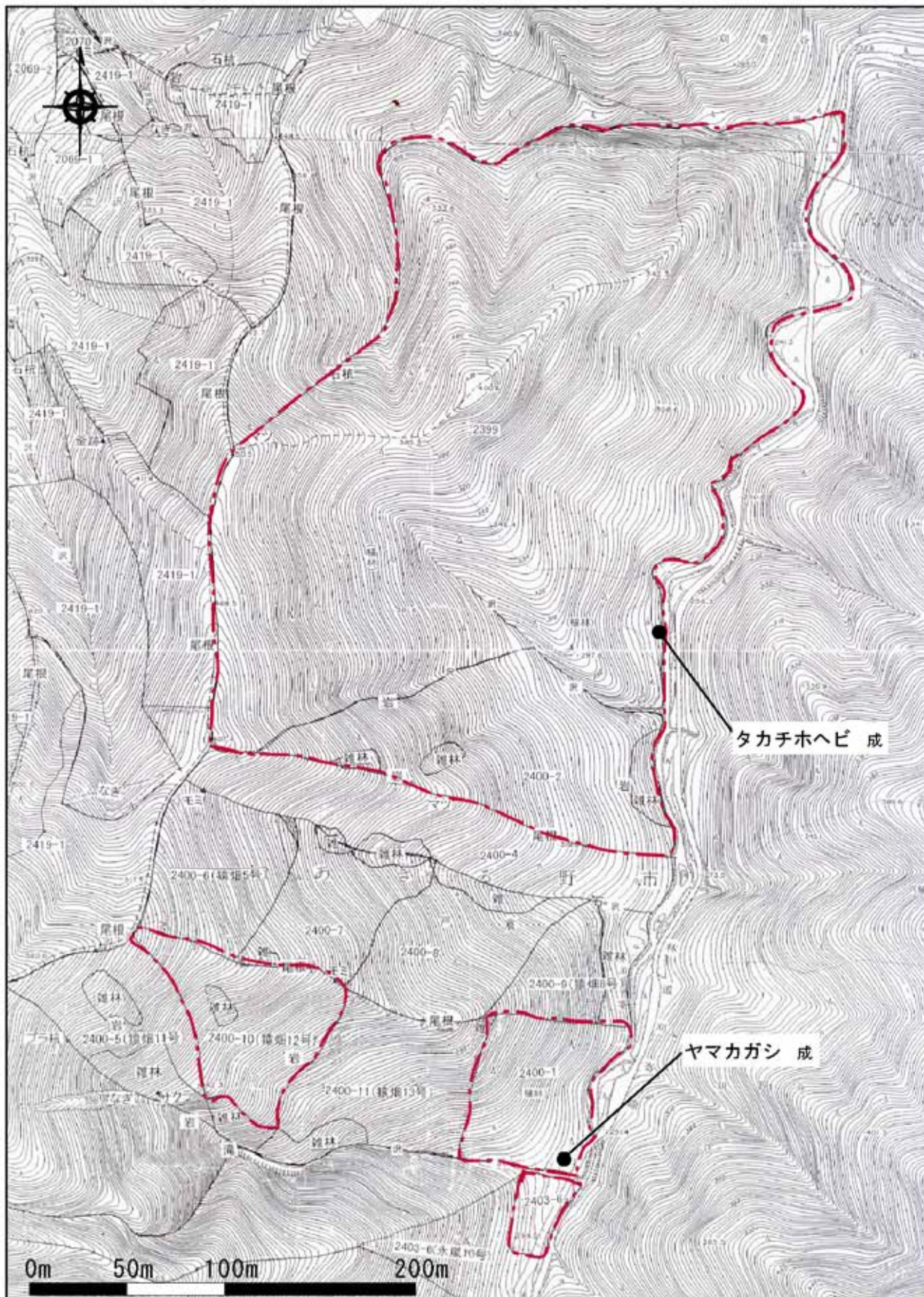


図3-6 両生・爬虫類 確認位置(秋)

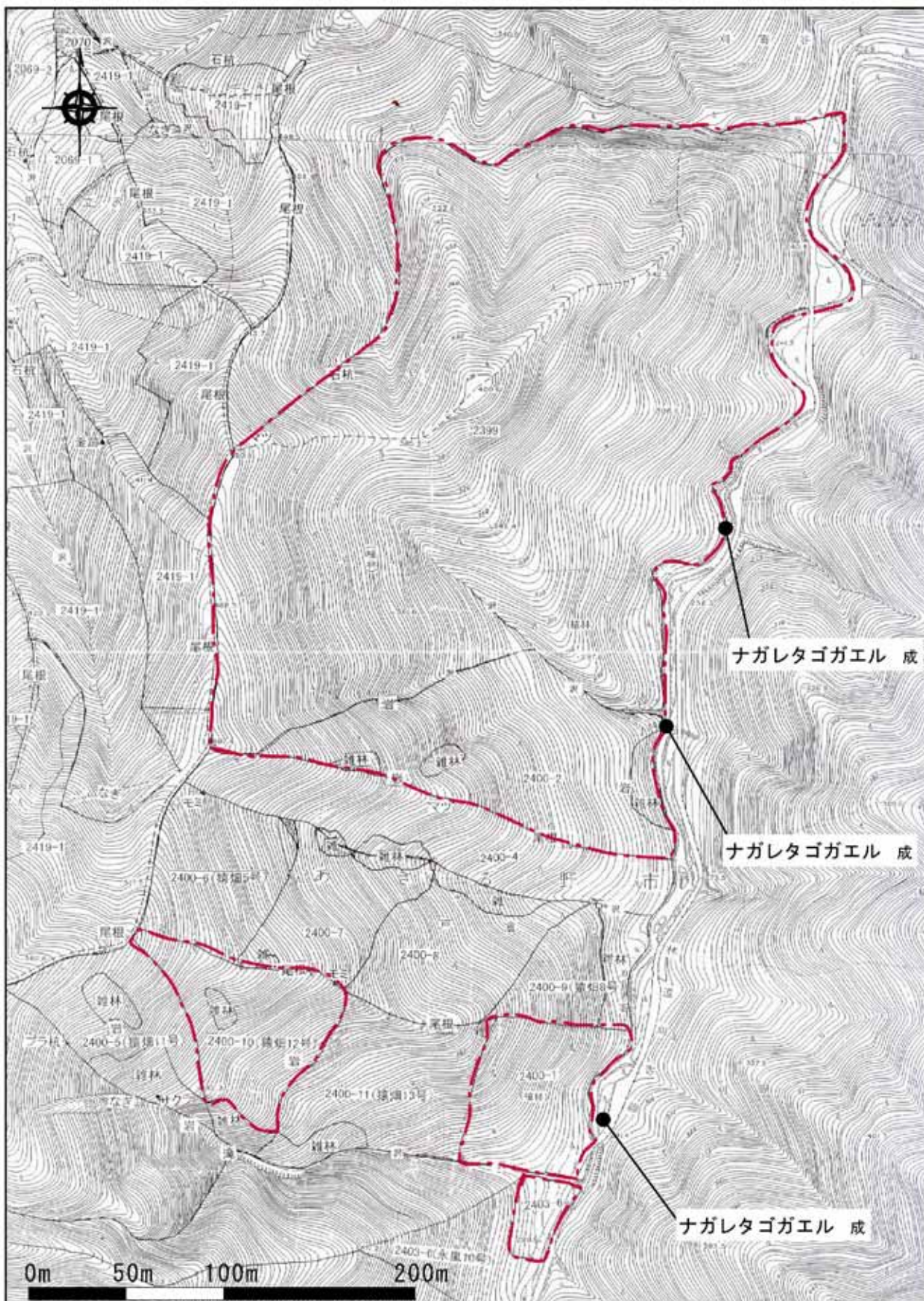


図 3-6 両生・爬虫類 確認位置 (冬)

3-2-4 昆虫類

15 目 132 科 370 種の昆虫類が確認された。昆虫類の確認状況を表 3-8 に示す。
また重要種の確認位置を図 3-7 に示す。

【季節別の確認状況】

・春調査

154 種の昆虫類が確認された。ハムシ類やゾウムシ類が比較的多く確認された。また、オジロサナエ、シオヤトンボ、ハルゼミ、ツマキチョウ等の春に羽化する昆虫類が確認された。

重要種として、刈寄谷川沿いでオジロサナエが確認され、尾根沿いのアカマツにおいてハルゼミ（鳴き声）が確認された。ハルゼミは、マツ林を好み生息するため、尾根沿いに主に生えるアカマツの保存、撫育について検討を行いたい。

・夏調査

186 種の昆虫類が確認された。刈寄谷川沿いで、オニヤンマ等トンボ類が確認され、夜間のライトトラップで蛾類が多く確認された。

カブトムシや、ゴマダラカミキリ等比較的大きな甲虫も少数確認されるが、カナブン等雑木林で一般的に確認される種のうち確認されなかったものも多く、全体的な数も少ない。

・秋調査

89 種の昆虫類が確認された。ミルンヤンマやオオルリボシヤンマ等のヤンマ類、ツツレサセコオロギ等のコオロギ類、ヒメギス、ヤブキリ等のキリギリス類が確認された。

【地域的な確認状況】

・スギ、ヒノキ植林

低木層間にメイガ類が飛翔し、コウゾチビタマムシ等の小さな甲虫が低木層で生息しているが、昆虫の確認種数、個体数ともに少ない。

ベイトトラップでセンチコガネ等地表性の種が少数確認された。

・尾根沿いのアカマツ及びコナラ群落

枯れ赤松の樹皮にオオコクヌスト、ヨツコブゴミムシダマシ等が確認された。アサギマダラやアオスジアゲハ等の蝶類の飛翔も確認された。

地表性の種もルイスオサムシ等のオサムシ類が比較的多く確認された。

・刈寄谷川沿い

刈寄谷川沿いでは、ミルンヤンマやヒガシカワトンボ等、溪流性のトンボ類、アトボシアオゴミムシ等の水際に生息する種が多く確認された。

・林道沿い

道沿いに花をつけた低木が多く、ハナカミキリや、ハナアブ、イチモンジチョウ等が多く確認され、イネ科草本ではフキバッタ、地表ではハンミョウ等が確認された。

・南側飛び地

止水性のトンボ類、オオアオイトトンボ、シオカラトンボ、タカネトンボ、オオルリボシヤンマ等はすべてこの周辺で確認された。

表 3-8 昆虫類の確認状況 (1/7)

目名	科名	和名	学名	春	夏	秋	重要種*
イシノミ目	イシノミ科	イシノミ	<i>Pedetontus nipponicus</i>				
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	ナミフタオカゲロウ	<i>Siphonurus sanukensis</i>				
	コカゲロウ科	コカゲロウの一種	<i>Acentrella gnom</i>				
	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>				
トンボ目	アオイトトンボ科	オオアオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>				
	カワトンボ科	ハグロトンボ	<i>Calopteryx atrata Selys</i>				
		ヒガシカワトンボ	<i>Mnais pruinosa costalis</i>				
	サナエトンボ科	オジロサナエ	<i>Stylogomphus suzukii</i>				都C
	オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>				
	ヤンマ科	オオルリボシヤンマ	<i>Aeschna nigroflava</i>				
		ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei</i>				
	エソトンボ科	タカネトンボ	<i>Somatochlora uchidai</i>				都C
	トンボ科	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>				
		シオヤトンボ	<i>Orthetrum japonicum japonicum</i>				
		オオシオカラトンボ	<i>Orthetrum triangulare melania</i>				
アキアカネ		<i>Sympetrum frequens</i>					
ミヤマアカネ		<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>					
カワゲラ目	アミメカワゲラ科	セスジミドリカワゲラモドキ	<i>Isoperla towadensis</i>				
	カワゲラ科	カミムラカワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>				
カマキリ目	カマキリ科	ヒナカマキリ	<i>Amantia nawai</i>				
		オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>				
バッタ目	カマドウマ科	マダラカマドウマ	<i>Diestrammena japonica</i>				
	コオロギ科	モリオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus equestris</i>				
		ツツレサセコオロギ	<i>Velarifictorus mikado</i>				
		クサヒバリ科	クサヒバリ	<i>Paratrigonidium bifasciatum</i>			
	カンタン科	カンタン	<i>Oecanthus indicus</i>				
	キリギリス科	ツクムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>				
		ヒメギス	<i>Metrioptera hime</i>				
		ヤブキリ	<i>Tettigonia orientalis orientalis</i>				
		クサキリ	<i>Homorocoryphus lineosus</i>				
	バッタ科	ヤマトフキバッタ	<i>Parapodisma yamato</i>				
	ヒシバッタ科	コバネヒシバッタ	<i>Formosatettix larvatus</i>				
ヒシバッタ		<i>Tetrix japonica</i>					
ナナフシ目	ナナフシ科	エダナナフシ	<i>Phraortes illepidus</i>				
カメムシ目	ヒシウンカ科	キガシラヒシウンカ	<i>Kuvera flaviceps</i>				
	ウンカ科	ヒメトビウンカ	<i>Laodelphax striatella</i>				
	コガシラウンカ科	ウチワコガシラウンカ	<i>Catantidia sobrina</i>				
		ナワコガシラウンカ	<i>Rhotala nawae</i>				
	マルウンカ科	マルウンカ	<i>Gergithus variabilis</i>				
	ハゴロモ科	スケバハゴロモ	<i>Euricania fascialis</i>				
		ベッコウハゴロモ	<i>Orosanga japonicus</i>				
	セミ科	アブラゼミ	<i>Graptopsaltria nigrofuscata</i>				
		ツクツクボウシ	<i>Meimuna opalifera</i>				
		ミンミンゼミ	<i>Oncotympana maculaticollis</i>				
		ヒグラシ	<i>Tanna japonensis japonensis</i>				
		ハルゼミ	<i>Terpnosia vacua</i>				都B
	アワフキムシ科	トドマツホソアワフキ	<i>Aphilaenus abieti</i>				
		クロスジホソアワフキ	<i>Aphilaenus nigripectus</i>				
		ヒメモンキアワフキ	<i>Tabiphora rugosa</i>				
	ツノゼミ科	トビロツノゼミ	<i>Machaerotypus sibiricus</i>				
	ホシヨコバイ科	イグチホシヨコバイ	<i>Xestocephalus iguchii</i>				
	オオヨコバイ科	ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>				
		マエジロオオヨコバイ	<i>Kolla atramentaria</i>				
		ヨモギシロテンヨコバイ	<i>Mileewa dorsimaculata</i>				
	ヒメヨコバイ科	オビヒメヨコバイ	<i>Naratettix zonatus</i>				
		ヨモギヒメヨコバイ	<i>Eupteryx minuscula</i>				
	キジラミ科	クワキジラミ	<i>Anomoneura mori</i>				
	アメンボ科	シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>				
		アメンボ	<i>Gerris (Aquarius) paludum paludum</i>				

注) 都B: 東京都レッドデータブックにおいてBランクに指定される種
 都C: 東京都レッドデータブックにおいてCランクに指定される種

表 3-8 昆虫類の確認状況 (2/7)

目 名	科 名	和 名	学 名	春	夏	秋	重要種*	
カメムシ目	カスミカメムシ科	シロテンツヤカスミカメ	<i>Deraeocoris punctulatus</i>					
		チャイロカスミカメ	<i>Arbolygus fulvus</i>					
		ヒメセダカカスミカメ	<i>Charagochilus gyllenhalii</i>					
		ヒゲナガクロバカスミカメ	<i>Lygocoris (Apolygus) infamis</i>					
		マダラカスミカメ	<i>Lygus saundersi</i>					
		アカアシカスミカメ	<i>Onomaus lautus</i>					
	マキバサシガメ科	アカマキバサシガメ	<i>Gorpis brevilineatus</i>					
		コバネマキバサシガメ	<i>Nabis (Milu) apicalis</i>					
	ハナカメムシ科	ヤサハナカメムシ	<i>Amphiareus obscuriceps</i>					
	グンバイムシ科	ヤブガラシグンバイ	<i>Cysteochila consueta</i>					
	サシガメ科	ヒロウドサシガメ	<i>Ectrychotes andreae</i>					
	ナガカメムシ科	オオメカメムシ	<i>Piocoris varius</i>					
		ヒョウタンナガカメムシ	<i>Caridops albomarginatus</i>					
	ヘリカメムシ科	ホシハラヒロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>					
		ツマキヘリカメムシ	<i>Hygia (Hygia) opaca</i>					
	マルカメムシ科	マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>					
	カメムシ科	トゲカメムシ	<i>Carbula humerigera</i>					
		ムラサキシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris annamita</i>					
	アミメカゲロウ目	クサカゲロウ科	クサカゲロウの一種	<i>Ankylopteryx</i> sp.				
		ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ	<i>Hagenomyia micans</i>				
コウチュウ目	ハンミョウ科	ハンミョウ	<i>Cicindela chinensis japonica</i>					
		ニワハンミョウ	<i>Cicindela japana</i>					
	オサムシ科	アオオサムシ	<i>Carabus insulicola insulicola</i>					
		ルイスオサムシ	<i>Carabus lewisianus lewisianus</i>					
		クロナガオサムシ	<i>Leptocarabus procerulus procerulus</i>					
		マルガタナガゴミムシ	<i>Pterostichus subovatus</i>					
		ヨリトモナガゴミムシ	<i>Pterostichus yoritomus</i>					
		クロモリヒラタゴミムシ	<i>Colpodes atricomus</i>					
		ルリヒラタゴミムシ	<i>Dicranoncus femoralis</i>					
		オオヒラタゴミムシ	<i>Platynus magnus</i>					
		マルガタツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus arcuaticollis</i>					
		キアツツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus callitheres callitheres</i>					
		クロツツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus cycloderus</i>					
		コクロツツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus melantho</i>					
		オオクロツツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus nitidus</i>					
		オオマルガタゴミムシ	<i>Amara gigantea</i>					
		クビアカツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus longitarsis</i>					
		キイロチビゴモクムシ	<i>Acupalpus inornatus</i>					
		アトボシアオゴミムシ	<i>Chlaenius naeviger</i>					
		ホソホナシゴミムシ	<i>Perigona sinuata</i>					
	キタホソアトキリゴミムシ	<i>Dromius nipponicus</i>						
	ジュウジアトキリゴミムシ	<i>Lebia retrofasciata</i>						
	ホソクビゴミムシ科	ミイデラゴミムシ	<i>Pheropsophus jessoensis</i>					
	エンマムシ科	コエンマムシ	<i>Margarinotus nipponicus</i>					
	チビシテムシ科	オオクロチビシテムシ	<i>Prionochaeta harmandi harmandi</i>					
	シテムシ科	ヨツボシモンシテムシ	<i>Nicrophorus quadripunctatus</i>					
	ハネカクシ科	オサシテムシモドキ	<i>Apatetica princeps</i>				都C	
		ヒラタセスジハネカクシ	<i>Anotylus japonicus</i>					
		キベリカワベハネカクシ	<i>Bledius curvicornis</i>					
		キアシホソメダカハネカクシ	<i>Stenus rugipennis</i>					
		オオアカバハネカクシ	<i>Agelosus carinatus carinatus</i>					
	ツヤグロシリホソハネカクシ	<i>Tachyporus suavis</i>						
	デオキノコムシ科	アカバデオキノコムシ	<i>Episcaphium semirufum ruficolle</i>					
		ヘリアカデオキノコムシ	<i>Scaphidium reitteri</i>					
	クワガタムシ科	ノギリクワガタ	<i>Prosopocoilus inclinatus inclinatus</i>					
	センチコガネ科	センチコガネ	<i>Geotrupes laevistriatus</i>					
	コガネムシ科	クロマルエンマコガネ	<i>Onthophagus ater</i>					
		コブマルエンマコガネ	<i>Onthophagus atripennis apicinctus</i>					
		ヒロウドコガネ	<i>Maladera japonica japonica</i>					
		ヒダチャイロコガネ	<i>Sericania hidana</i>					
アオハナムグリ		<i>Eucetonia roelofsi</i>						

注) 都 C : 東京都レッドデータブックにおいて C ランクに指定される種

表 3-8 昆虫類の確認状況 (3/7)

目 名	科 名	和 名	学 名	春	夏	秋	重要種*
コウチュウ目	コガネムシ科	カブトムシ	<i>Allomyrina dichotoma dichotoma</i>				
	ヒメドロムシ科	ゴトウミゾドロムシ	<i>Ordobrevia gotoi</i>				
	タマムシ科	シロオビナカボソタマムシ	<i>Coraebus quadriundulatus</i>				
		ハイロヒラタチビタマムシ	<i>Habroloma griseonigrum</i>				
		コウソチビタマムシ	<i>Trachys broussonetia</i>				
		ウメチビタマムシ	<i>Trachys inconspicua</i>				
	コメツキムシ科	ホソサビキコリ	<i>Agrypnus fuliginosus</i>				
		クロツヤハダコメツキ	<i>Hemicrepidius secessus secessus</i>				
		アカハラクロコメツキ	<i>Ampedus hypogastricus hypogastricus</i>				
	コメツキダマシ科	コヒメミゾコメツキダマシ	<i>Dromaeolus brevipes</i>				
	ベニボタル科	ムネアカテングベニボタル	<i>Konoplatycis otome</i>				
	ジョウカイボン科	セボシジョウカイ	<i>Athemus vitellinus</i>				
		ウスイロクビボソジョウカイ	<i>Podabrus temporalis</i>				
	コクヌスト科	オオコクヌスト	<i>Trogossita japonica</i>				
	カッコウムシ科	アリモドキカッコウムシ	<i>Thanasimus lewisi</i>				
	ケシキスイ科	カクアシヒラタケシキスイ	<i>Epuraea bergeri</i>				
		ツバキヒラタケシキスイ	<i>Epuraea commutata</i>				
	ヒメハナムシ科	フタスジヒメハナムシ	<i>Olibrus particeps</i>				
	クスイモドキ科	エゾクスイモドキ	<i>Byturus oakanus</i>				
	ムクゲキスイムシ科	ハスモンムクゲキスイ	<i>Biphyllus rufopictus</i>				
	テントウムシ科	ハレヤヒメテントウ	<i>Pseudoscymnus hareja</i>				
		カワムラヒメテントウ	<i>Scymnus kawamurai</i>				
		コクロヒメテントウ	<i>Scymnus posticalis</i>				
		ナガヒメテントウ	<i>Scymnus ruficeps</i>				
		フタモンクワテントウ	<i>Cryptogonus orbiculus</i>				
		ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>				
		キイロテントウ	<i>Illeis koebelei koebelei</i>				
	ヒメマキムシ科	ヒメマキムシ	<i>Stephostethus chinensis</i>				
	ハナノミ科	フタオビヒメハナノミ	<i>Mordellina signatella</i>				
	カミキリモドキ科	モモフトカミキリモドキ	<i>Oedemerona lucidicollis</i>				
	アカハネムシ科	ムナビロアカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa laticollis</i>				
	ゴミムシダマシ科	モンキゴミムシダマシ	<i>Diaperis lewisi lewisi</i>				
		ヨツコブゴミムシダマシ	<i>Uloma latimanus</i>				
		エグリゴミムシダマシ	<i>Uloma marseuli marseuli</i>				
		ヒメツノゴミムシダマシ	<i>Cryphaeus duellicus</i>				
		コツヤホソゴミムシダマシ	<i>Menephilus lucens</i>				
		キマワリ	<i>Plesiophthalmus nigrocyaneus nigrocyaneus</i>				
	カミキリムシ科	ノコギリカミキリ	<i>Prionus insularis insularis</i>				
		カラカネハナカミキリ	<i>Gaurotes doris</i>				
		ムナミゾハナカミキリ	<i>Munamizoa maculata</i>				
		チャイロチビヒラタカミキリ	<i>Phymatodes vandykei</i>				
		トゲヒゲトラカミキリ	<i>Demonax transilis</i>				
		ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>				
		クワカミキリ	<i>Apriona japonica</i>				
		ヘリグロリンゴカミキリ	<i>Nupserha marginella</i>				
		ラミーカミキリ	<i>Paraglenea fortunei</i>				
		イクビマソウムシ	<i>Spermophagus rufiventris</i>				
	ハムシ科	ルリクビボソハムシ	<i>Lema cirscicola</i>				
		アカガネサルハムシ	<i>Acrothinium gaschkevitchi gaschkevitchi</i>				
		ヒメキバネサルハムシ	<i>Pagria signata</i>				
		ドウガネサルハムシ	<i>Scelodonta lewisii</i>				
		ヤナギホシハムシ	<i>Gonioctena honshuensis</i>				
		ルリハムシ	<i>Linaeidea aenea</i>				
		ヤマナラシハムシ	<i>Phratora laticollis</i>				
		ヤナギルリハムシ	<i>Plagiodera versicolora</i>				
		ムナグロツヤハムシ	<i>Arthrotus niger</i>				
		クワハムシ	<i>Fleutiauxia armata</i>				
イタドリハムシ		<i>Gallerucida bifasciata</i>					
キイロクワハムシ		<i>Monolepta pallidula</i>					
ブタクサハムシ		<i>Ophraella notulata</i>					
アトボシハムシ		<i>Paridea angulicollis</i>					
クワバヒゲナガハムシ		<i>Taumacera tibialis</i>					

表 3-8 昆虫類の確認状況 (4/7)

目名	科名	和名	学名	春	夏	秋	重要種*
コウチュウ目	ハムシ科	ツブミハムシ	<i>Aphthona perminuta</i>				
		オオアカマルノミハムシ	<i>Argopus clypeatus</i>				
		アカイロマルノミハムシ	<i>Argopus punctipennis</i>				
		ヒサゴトビハムシ	<i>Chaetocnema ingenua</i>				
		ヨモギトビハムシ	<i>Longitarsus succineus</i>				
		クワノミハムシ	<i>Luperomorpha funesta</i>				
		ツマキタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma apicale</i>				
		ムネアカタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma placidum</i>				
		ヒメアカタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma separatum</i>				
		ヒメカメノコハムシ	<i>Cassida piperata</i>				
		アオカメノコハムシ	<i>Cassida rubiginosa</i>				
		コガタカメノコハムシ	<i>Cassida vespertina</i>				
	オトシブミ科	ヒメクロオトシブミ	<i>Apoderus erythrogaster</i>				
		ウスアカオトシブミ	<i>Apoderus rubidus</i>				
		カシルリオトシブミ	<i>Euops splendidus</i>				
		オオケブカチョッキリ	<i>Involvulus amabilis</i>				
	ゾウムシ科	ミヤマヒゲボソゾウムシ	<i>Phyllobius annectens</i>				
		ツヤチビヒメゾウムシ	<i>Centrinopsis nitens</i>				
		カナムグラサルゾウムシ	<i>Ceutorhynchus shaowuensis</i>				
	オサゾウムシ科	オオゾウムシ	<i>Sipalinus gigas</i>				
	キクイムシ科	ハネミジカキクイムシ	<i>Xylosandrus brevis</i>				
ハチ目	ミフシハバチ科	ニホンチュウレンジ	<i>Arge nipponensis</i>				
	ハバチ科	ツノジロホソハバチ	<i>Asiemphtus vexator</i>				
		ニホンカブラハバチ	<i>Athalia japonica</i>				
		フトコシジロハバチ	<i>Corymbas nipponica</i>				
		チャイロハバチ	<i>Nesotaxonus flavescens</i>				
	ヒメバチ科	ツマグロケンヒメバチ	<i>Spilopteron apicalis</i>				
	アリ科	オオハリアリ	<i>Brachyponera chinensis</i>				
		アシナガアリ	<i>Aphaenogaster famelica famelica</i>				
		テラニシシリアゲアリ	<i>Crematogaster brunnea teranisii</i>				
		ハリフトシリアゲアリ	<i>Crematogaster matsumurai matsumurai</i>				
		チャイロムネボソアリ	<i>Leptothrax kubira</i>				
		アズマオオズアリ	<i>Pheidole fervida</i>				
		アミメアリ	<i>Pristomyrmex pungens</i>				
		ムネアカオオアリ	<i>Camponotus obscuripes</i>				
		ケブカツヤオオアリ	<i>Camponotus nipponensis</i>				
		ハヤシクロヤマアリ	<i>Formica sp.</i>				
		アメイロケアリ	<i>Lasius umbratus</i>				
		トビロケアリ	<i>Lasius niger</i>				
		カワラケアリ	<i>Lasius sakagami</i>				
		アメイロアリ	<i>Paratrechina flavipes</i>				
	スズメバチ科	ホソアシナガバチ	<i>Parapolybia indica indica</i>				
		フタモンアシナガバチ	<i>Polistes chinensis antennalis</i>				
		キアシナガバチ	<i>Polistes rothneyi</i>				
		コガタスズメバチ	<i>Vespa analis eisa</i>				
		オオスズメバチ	<i>Vespa mandarina japonica</i>				
		キロスズメバチ	<i>Vespa simillima xanthoptera</i>				
	クロスズメバチ	<i>Vespula flaviceps lewisii</i>					
	アナバチ科	キゴシジガバチ	<i>Sceliphron madraspatanum kohli</i>				
	コハナバチ科	フタモンカタコハナバチ	<i>Lasioglossum scitulum</i>				
	ヒメハナバチ科	アブラナヒメハナバチ	<i>Andrena aburana</i>				
	コシブトハナバチ科	ルリモンハナバチ	<i>Thyreus decorus</i>				
		クマバチ	<i>Xylocopa appendiculata circumvolans</i>				
	ミツバチ科	オオマルハナバチ	<i>Bombus hypocrita hypocrita</i>				
トラマルハナバチ		<i>Bombus diversus diversus</i>					
シリアゲムシ目	シリアゲムシ科	シリアゲムシ	<i>Panorpa japonica</i>				
		ミヤケシリアゲ	<i>Panorpa tsunekatanis</i>				
ハエ目	ガガンボ科	ミカドガガンボ	<i>Ctenacroschelis mikado</i>				
		キリウジガガンボ	<i>Tipula (Yamatotipula) aino</i>				
		オオユウレイガガンボ	<i>Dolichocheza (Oropeza) candidipes</i>				
		コモンヒメガガンボ	<i>Limonia (Limonia) basispina</i>				
	ケバエ科	クログテナシケバエ	<i>Plecia adiastrata</i>				

表 3-8 昆虫類の確認状況 (5/7)

目 名	科 名	和 名	学 名	春	夏	秋	重要種*
ハエ目	アブ科	ウシアブ	<i>Tabanus trigonus</i>				
	コガシラアブ科	シバカワコガシラアブ	<i>Nipponocyrtus shibakawae</i>				
	ツリアブ科	ニトベハラボソツリアブ	<i>Systropus nitobei</i>				
	ムシヒキアブ科	イッシキイシアブ	<i>Choerades isshikii</i>				
		ツヤイシアブ	<i>Maira aterrima</i>				
		シロズヒメムシヒキ	<i>Philonicus albiceps</i>				
	オドリバエ科	モモトセダカオドリバエ	<i>Hybos japonicus</i>				
	ハナアブ科	ヨコジマオオヒラタアブ	<i>Dideoides latus</i>				
		ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>				
		ヒメヒラタアブ	<i>Sphaerophoria menthastri</i>				
		マダラコシボソハナアブ	<i>Baccha maculata</i>				
		ホソツヤヒラタアブ	<i>Melanostoma mellinum</i>				
		キアシマメヒラタアブ	<i>Paragus (Pandasyophthalmus) haemorrhous</i>				
		ジョウザンマメヒラタアブ	<i>Paragus (Pandasyophthalmus) jozanus</i>				
		ナミクロハナアブ	<i>Cheilosia fuscipennis</i>				
		アシトハナアブ	<i>Helophilus (Helophilus) virgatus</i>				
		オオハナアブ	<i>Phytomia zonata</i>				
	フトモモホソバエ科	クロフトモモホソバエ	<i>Texara compressa</i>				
	ミバエ科	ミスタマケブカミバエ	<i>Aliniana longipennis</i>				
	ヤチバエ科	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>				
	シマバエ科	ヤブクロシマバエ	<i>Minettia longipennis</i>				
	ショウジョウバエ科	オオショウジョウバエ	<i>Drosophila (Sophophora) immigrans</i>				
	イエバエ科	キアシマルハナバエ	<i>Mydaea urbana</i>				
	クロバエ科	キンバエ	<i>Lucilia caesar</i>				
		ツマグロキンバエ	<i>Stomorphina obsoleta</i>				
	ニクバエ科	ヤマトカスミニクバエ	<i>Blaesoxipha (Blaesoxipha) japonensis</i>				
	ヤドリバエ科	ブランコヤドリバエ	<i>Exorista japonica</i>				
コガネオオハリバエ		<i>Tachina (Servilla) luteola</i>					
シナヒラタハナバエ		<i>Ectophasia rotundiventris</i>					
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>				
	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche ulmeri</i>				
	カクツツトビケラ科	コカクツツトビケラ	<i>Goerodes japonicus</i>				
チョウ目	マガリガ科	キオビクロヒゲナガ	<i>Nemophora umbripennis</i>				
	ハマキガ科	リンゴノコカクモンハマキ	<i>Adoxophyes orana</i>				
		ヨモギネムシガ	<i>Epiblema foenella</i>				
		ブライヤヒメハマキ	<i>Epiblema pryera</i>				
	マドガ科	マドガ	<i>Thyris usitata</i>				
	メイガ科	ツトガ	<i>Ancylolomia japonica</i>				
		シロヒトモンノメイガ	<i>Analthes semitritalis orbicularis</i>				
		シロモンクロノメイガ	<i>Anania funebris astrifera</i>				
		シロモンノメイガ	<i>Bocchoris inspersalis</i>				
		オオシロモンノメイガ	<i>Chabula telphusalis</i>				
		シロテンノメイガ	<i>Diathrausta brevifascialis</i>				
		クワノメイガ	<i>Glyphodes pyloalis</i>				
		マメノメイガ	<i>Maruca testulalis</i>				
		シロテンキノメイガ	<i>Nacoleia commixta</i>				
		クビシロノメイガ	<i>Pileocera aegimiusalis</i>				
		クロスジキンノメイガ	<i>Pleuroptya balteata</i>				
		キムジノメイガ	<i>Prodasynemesis inornata</i>				
		モンシロクロノメイガ	<i>Syllepte segnalis</i>				
		タイワンモンキノメイガ	<i>Syllepte taiwanalis</i>				
	セセリチョウ科	ダイミョウセセリ	<i>Daimio tethys</i>				
		ヒメキマダラセセリ	<i>Ochlodes ochraceus</i>				
		キマダラセセリ	<i>Potanthus flavus flavus</i>				
	アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	<i>Graphium sarpedon nipponum</i>				
		カラスアゲハ	<i>Papilio bianor amamiensis</i>				
		オナガアゲハ	<i>Papilio macilentus</i>				
		クロアゲハ	<i>Papilio protenor demetrius</i>				
		ウスバシロチョウ	<i>Parnassius glacialis</i>				

表 3-8 昆虫類の確認状況 (6/7)

目 名	科 名	和 名	学 名	春	夏	秋	重要種*	
チョウ目	シロチョウ科	ツマキチョウ	<i>Anthocharis scolymus</i>					
		モンキチョウ	<i>Colias erate poliographus</i>					
		キチョウ	<i>Eurema hecabe</i>					
		モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>					
	シジミチョウ科	ヤマトシジミ	<i>Zizeeria maha argia</i>					
	ウラギンシジミチョウ科	ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta paracuta</i>					
	マダラチョウ科	アサギマダラ	<i>Parantica sita nipponica</i>					
	タテハチョウ科	サカハチチョウ	<i>Araschnia burejana strigosa</i>					
		ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>					
		ヒメアカタテハ	<i>Cynthia cardui</i>					
		ルリタテハ	<i>Kaniska canace ishima</i>					
		イチモンジチョウ	<i>Ladoga camilla japonica</i>					
	コミスジ	<i>Neptis sappho intermedia</i>						
	ジャノメチョウ科	コジャノメ	<i>Mycalesis francisca perdiccas</i>					
		ヒメジャノメ	<i>Mycalesis gotama fulginia</i>					
	カギバガ科	ギンモンカギバ	<i>Callidrepana patrana</i>					
	オオカギバガ科	ギンスジカギバ	<i>Mimozethes argentilinearia</i>					
	シャクガ科	コヨツメアオシャク	<i>Comostola subtiliaria insulata</i>					
		アオスジアオシャク	<i>Hemithea marina</i>					
		マルモンヒメアオシャク	<i>Jodis praeurupta</i>					
		ムスジシロナミシャク	<i>Asthenes nymphaeata</i>					
		キマダラシロナミシャク	<i>Asthenes octomaculata</i>					
		ソトシロオビナミシャク	<i>Chloroclystis excisa</i>					
		オオハガタナミシャク	<i>Ecliptopera umbrosaria</i>					
		ハコベナミシャク	<i>Euphyia cineraria</i>					
		ミヤマアミメナミシャク	<i>Eustroma aerosum</i>					
		キアミメナミシャク	<i>Eustroma japonicum</i>					
		ハガタナミシャク	<i>Eustroma melancholicum</i>					
		セスジナミシャク	<i>Evecliptopera decurrens illitata</i>					
		キマダラオオナミシャク	<i>Gandaritis fixseni</i>					
		ウスクモナミシャク	<i>Heterophleps fusca</i>					
		テンスジヒメナミシャク	<i>Hydrelia nisaria</i>					
		ゴマダラシロナミシャク	<i>Naxidia maculata</i>					
		ピロードナミシャク	<i>Sibatania mactata</i>					
		テントツマナミシャク	<i>Telenomeuta punctimarginaria</i>					
		シロオビクロナミシャク	<i>Trichopatria exsecuta</i>					
		ヒメシタコバネナミシャク	<i>Trichopteryx microloba</i>					
		ホソバナナミシャク	<i>Tyloptera bella amamiensis</i>					
		ナカウスエダシャク	<i>Alcis angulifera</i>					
		ソトシロオビエダシャク	<i>Calicha ornataria</i>					
		フトオビエダシャク	<i>Hypomecis crassestrigata</i>					
		ナミスジシロエダシャク	<i>Myrteta tinagmaria rubripunctata</i>					
		シロツバメエダシャク	<i>Ourapteryx maculicaudaria</i>					
		ツバメエダシャクの種類	<i>Ourapteryx</i> sp.					
		ウスアオエダシャク	<i>Parabapta clarissa</i>					
		シナトビスジエダシャク	<i>Paradarisa consonaria</i>					
		オビガ科	オビガ	<i>Apha aequalis</i>				
		スズメガ科	ホシホウジャク	<i>Macroglossum pyrrhosticta</i>				
			ホシホウジャク	<i>Macroglossum pyrrhosticta</i>				
		ドクガ科	マメドクガ	<i>Cifuna locuples confusa</i>				
	キドクガ		<i>Euproctis piperita</i>					
	ブドウドクガ		<i>Neocifuna eurydice</i>					
	ヒトリガ科	クロテンハイロコケガ	<i>Eugoa grisea</i>					
ヨツボシホソバ		<i>Lithosia quadra</i>						

表 3-8 昆虫類の確認状況 (7/7)

目 名	科 名	和 名	学 名	春	夏	秋	重要種*
チョウ目	ヤガ科	オオバコヤガ	<i>Diarsia canescens</i>				
		シロモンオビヨトウ	<i>Athetis lineosa</i>				
		ノコメセダカヨトウ	<i>Orthogonia sera</i>				
		フタオビコヤガ	<i>Naranga aenescens</i>				
		ニセシロフコヤガ	<i>Sugia stygiodes</i>				
		キクキンウバ	<i>Trichoplusia intermixta</i>				
		モンシロムラサキクチバ	<i>Ercheia niveostrigata</i>				
		モンムラサキクチバ	<i>Ercheia umbrosa</i>				
		シロテンツマキリアツバ	<i>Amphitrogia amphidecta</i>				
		シャクドウクチバ	<i>Mecodina nubiferalis</i>				
		ヤマガタアツバ	<i>Bomolocha stygiana</i>				
		シラナミクロアツバ	<i>Adrapsa simplex</i>				
		オオシラホシアツバ	<i>Edessena hamada</i>				
		オオアカマエアツバ	<i>Simplicia nippona</i>				
		キイロアツバ	<i>Zanclognatha helva</i>				
コブヒゲアツバ	<i>Zanclognatha lunalis</i>						
15 目 132 科 370 種				154	186	89	

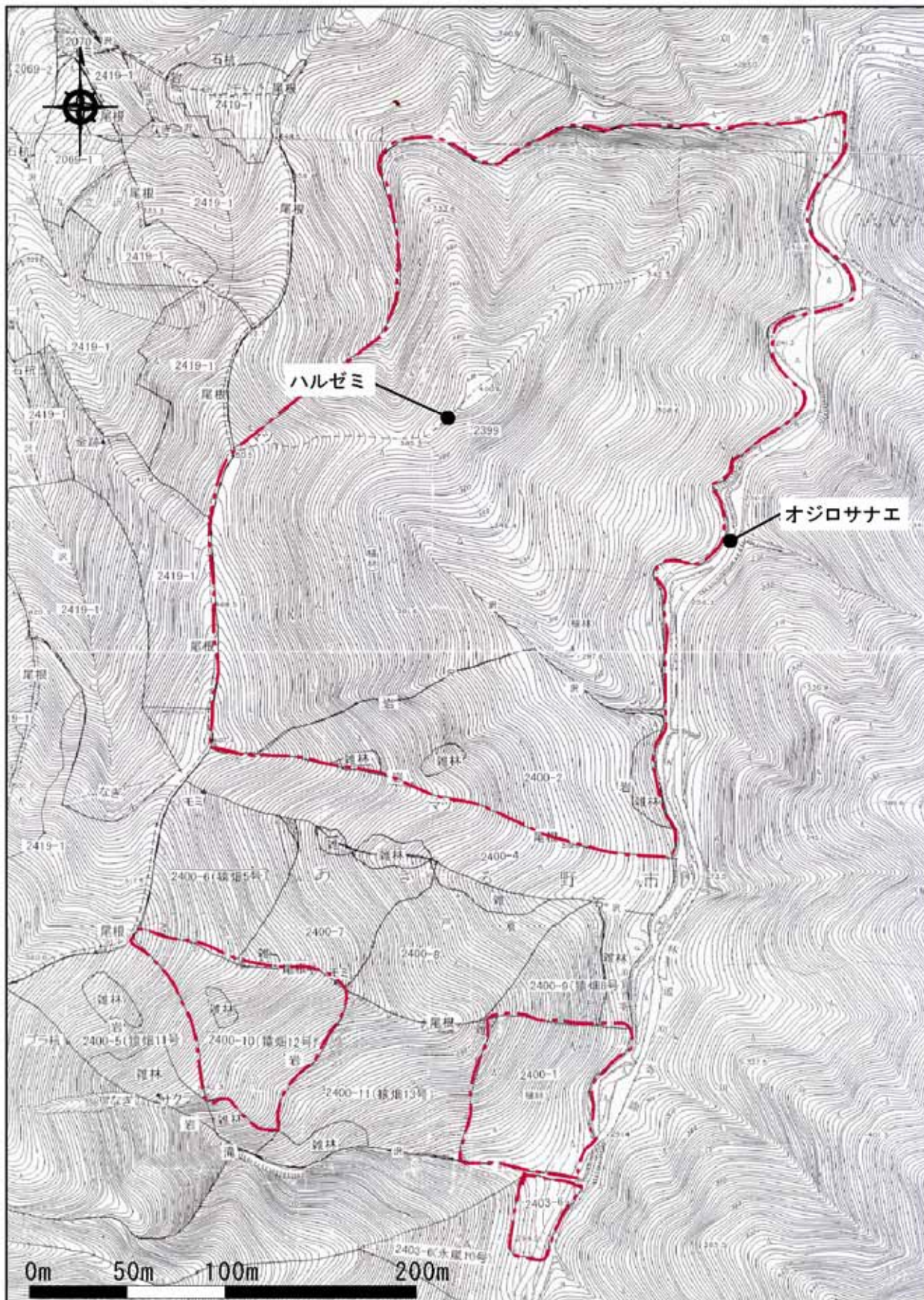


図3-7 昆虫類 重要種 確認位置(春)

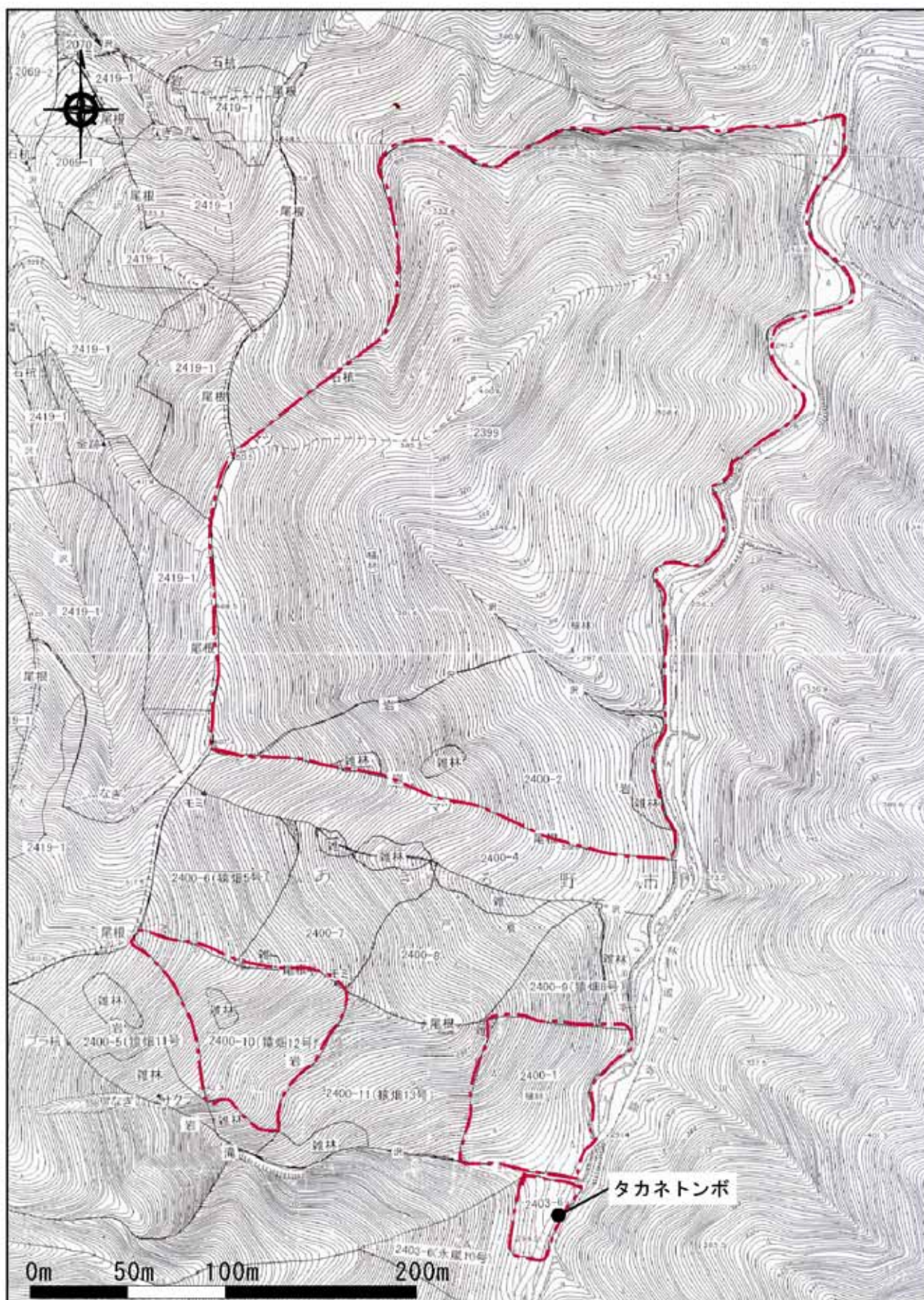


图3-7 昆虫類 重要種 確認位置(夏)

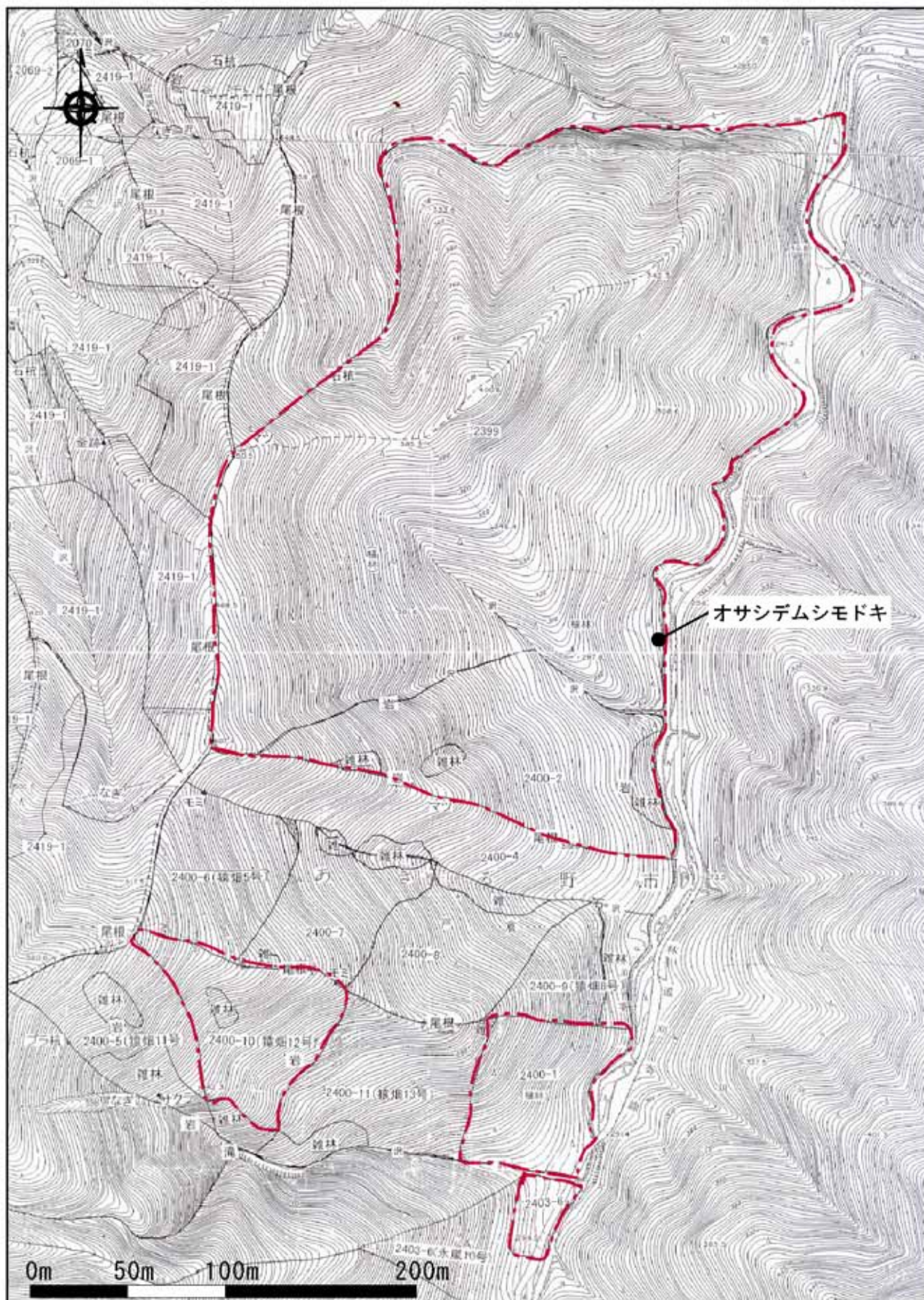


図3-7 昆虫類 重要種 確認位置(秋)

3-2-5 魚介類・底生動物

(1) 魚介類

現地調査によって、2科2種の魚類、1科1種の節足動物類が確認された。

ヤマメ、カジカは山地の渓流に生息する種であり、サワガニは山地の細流で確認される種である。

確認状況を表3-9に示す。

表3-9 魚介類の確認状況

科名	和名	学名	春	夏	秋	冬	備考
魚類							
サケ科	ヤマメ	<i>Oncorhynchus masou</i>					
カジカ科	カジカ	<i>Cottus pollux</i>					
その他							
サワガニ科	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>					

(2) 底生動物

9目32科47種の底生動物(主に水生昆虫類)が刈寄谷川周辺で確認された。確認状況を表3-10に示す。

ハグロトンボ、ヒガシカワトンボの様に水辺にヨシ等の河畔植生のある環境を好む種、クロサナエのように河床の底土に隠れながら生息する種、ヒラタドロムシやヘビトンボ、トビケラ類のように礫の下等に生息する種が確認された。

ほとんどの種が水のきれいな山地の渓流に生息する種である。

重要種としてムカシトンボ、クロサナエ、オナガサナエ、オジロサナエが刈寄谷川本流で確認された。

表 3-10 底生動物の確認状況

目名	科名	和名	学名	春	夏	秋	冬	備考	
ウズムシ目	サンカアタマウスムシ科	ナミウズムシ	<i>Dugesia japonica</i>						
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	マエグロヒメフタオカゲロウ	<i>Ameletus costalis</i>						
	コカゲロウ科	コカゲロウ科の一種	Baetidae sp.						
	ヒトリガカゲロウ科	チラカゲロウ	<i>Isonychia japonica</i>						
	ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	<i>Epeorus curvatulus</i>						
		エルモンヒラタカゲロウ	<i>Epeorus latifolium</i>						
		ウエノヒラタカゲロウ	<i>Epeorus uenoi</i>						
	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>						
		クロマダラカゲロウ	<i>Cincticostella nigra</i>						
マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	<i>Cincticostella okumai</i>							
	オオマダラカゲロウ	<i>Drunella basalis</i>							
トンボ目	カワトンボ科	ハグロトンボ	<i>Calopteryx atrata</i>						
		ミヤマカワトンボ	<i>Calopteryx cornelia</i>						
		ヒガシカワトンボ	<i>Mnais pruinosa costalis</i>						
	ムカシトンボ科	ムカシトンボ	<i>Epiophlebia superstes</i>					都C	
	サナエトンボ科	クロサナエ	<i>Davidius fujiana</i>						都C
		ダビドサナエ	<i>Davidius nanus</i>						
		オナガサナエ	<i>Onychogomphus viridicosta</i>						都B
		オジロサナエ	<i>Stylogomphus suzukii</i>						都C
		サナエトンボ科の一種	Gomphidae sp.						
	オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>						
	ヤンマ科	ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei</i>						
	オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属の一種	Protonemura sp.						
	アミメカワゲラ科	ヤマトヒロバネアミメカワゲラ	<i>Pseudomegarcys japonicus</i>						
カワゲラ目	カワゲラ科	カミムラカワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>						
		マエキフタツメカワゲラモドキ	<i>Kiotina pictetii</i>						
		オオヤマカワゲラ	<i>Oyamia gibba</i>						
		ヒトホシクラカケカワゲラ	<i>Paragnetina japonica</i>						
カメムシ目	アメンボ科	シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>						
		アメンボ	<i>Gerris (Aquarius) paludum paludums</i>						
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>						
		クロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes continentalis</i>						
コウチュウ目	ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ	<i>Platambus pictipennis</i>						
	ガムシ科	セマルガムシ	<i>Coelostoma stultum</i>						
	ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ	<i>Mataeopsephus japonicus japonicus</i>						
ハエ目	ガガンボ科	ガガンボ科の一種	Tipulidae sp.						
	アブ科	アブ科の一種	Tabanidae sp.						
	ユスリカ科	ユスリカ科の一種	Chironomidae sp.						
	カワトビケラ科	カワトビケラ科の一種	Philopotamidae sp.						
	ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ科の一種	Hydroptilidae sp.						
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>						
	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche ulmeri</i>						
	キタガミトビケラ科	キタガミトビケラ	<i>Limnocentropus insolitus</i>						
	フトヒゲトビケラ科	ヨツメトビケラ	<i>Perissoneura paradoxa</i>						
	エグリトビケラ科	ニンギョウトビケラ属の一種	Goera sp.						
		クロツツトビケラ	<i>Uenoa tokunagai</i>						
	カクスイトビケラ科	カクスイトビケラ属の一種	Brachycentrus sp.						
	ケトビケラ科	グマガトビケラ	<i>Gumaga okinawaensis</i>						
9目 32科 47種				21	21	24	23		

注) 都Bランク：東京都レッドデータブックにおいてBランクに指定される種
 都Cランク：東京都レッドデータブックにおいてCランクに指定される種

4. まとめ

4-1. 「みなと区民の森」生物の概況と整備方針

本年度の調査は、「みなと区民の森」整備工事と併行して実施された調査である。植物が展葉する春から秋にかけては、「みなと区民の森」整備工事は主に林道整備工事が行われており、今回の調査で確認された状況は、スギ・ヒノキ植林を中心とした落葉樹へ林相転換を行う前の林分における状況である。

確認された状況を表4-1に整理する。

「みなと区民の森」の多様な生物相を復元するための今後の整備方針として以下の項目があげられる。

林相転換後の稚樹の撫育

林相転換は、昔からの人との関わりが深い自然として二次林（コナラを主とする）への林相の転換を目標としている。この二次林としての整備・維持に加え、埋土種子より発生した潜在自然植生を構成する稚樹を選択的に残し、多様な植物種の生育する樹林を育成する。植物種の多様性は、昆虫類の多様性につながるため、哺乳類、鳥類の上位種を含めた「みなと区民の森」の生態系の多様性を保つ基礎的な方針といえる。

尾根線の大径木の保全

尾根線の大径木（アカマツ、モミ）は、今回の調査でこれを主に利用している種、哺乳類ではニホンリス、ムササビ、陸上昆虫類ではハルゼミが確認された。尾根線のアカマツは松枯れが進んでおり、松枯れ対策を行うことが望ましい。また同時に次世代の稚樹を育成することも必要であると考えられる。

刈寄谷川の清流の維持

刈寄谷川の清流に生息する種、カジカガエル、ナガレタゴガエルのカエル類、クロサナエ、クロスジヘビトンボ等の底生動物が多く確認された。刈寄谷川環境は、「みなと区民の森」の多様性を構成する重要な環境である。現時点では刈寄谷川沿いの環境を大きく変える影響要因は見受けられないものの、引き続きモニタリングを行い状況に応じた維持管理を行うことが必要である。

表4-1 「みなと区民の森」生物の概況

項目		概況	
植物		<ul style="list-style-type: none"> ・確認された植物種は、東京都西部丘陵の樹林帯で主に確認される種がほとんどである。 ・山林は植林で樹冠がふさがっているため、コナラ、クマシデ、シラカシ、ケヤキ等の広葉樹はそのほとんどが低木であり、生育密度も低い。 ・帰化種の割合が5%と極めて少なく、人為的影響の少ない、日本在来の植物が多く残る環境にある。 ・みなと区民の森の潜在自然植生は、刈寄谷川沿いでケヤキ、ミズキ等が優占するケヤキ群集（パイオニアとしてはフサザクラ）、山林部ではシラカシ群集である。 	
動物	哺乳類	<ul style="list-style-type: none"> ・確認された哺乳類は、東日本の低山帯に生息する種である。 ・特徴的な種としては、ニホンリス、ムササビが挙げられる。ニホンリスは、尾根沿いのアカマツ（松の実）を採食し、ムササビも尾根沿いのアカマツ、モミの大径木を巣として利用している。 ・その他の種は、樹林全体に分布しており、特にノウサギ、タヌキ、テン等の中型哺乳類は調査範囲内を広く移動しながら生活しているものと考えられる。 	
	鳥類	一般鳥類	<ul style="list-style-type: none"> ・確認種は、純森林性種が60%近くを占める。水域周辺性種もミゾゴイ、カワガラス、ミソサザイが確認されており山地の溪流に生息するが多く確認されており、確認種のほとんどが樹林に依存する種である。 ・冬季の確認種数、確認個体数は少なく、植林のため餌となる植物の種子が少ないことが要因と考えられる。
		猛禽類（オオタカ）	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点ではオオタカつがいのみみなと区民の森に強く依存し、利用していることはないと考えられる。しかし混交林化などの事業に伴い森が豊かになることで将来は狩場などとして有効に利用される可能性は十分考えられる。 オオタカ以外にもノスリ、ハチクマなどの猛禽類も確認されており、区民の森周辺の環境はオオタカ以外の猛禽類の生息にも重要なものであると考えられ、周辺環境のポテンシャルの高さが伺える。
	両性類・爬虫類	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本の低山～亜高山帯に生息する種が主に確認されており、特に両生類では、刈寄谷川において溪流性のタゴガエル、ナガレタゴガエル、カジカガエルが生息している。 	
	昆虫類	<ul style="list-style-type: none"> ・カブトムシや、ゴマダラカミキリ等比較的大きな甲虫も少数確認されるが、カナブン等一般的な雑木林で確認される種で確認されなかったものも多く、全体的な数も少ない。 ・スギ・ヒノキ植林内では、コウゾチビタマムシ等の小さな甲虫が低木層で生息しているが、昆虫の確認種数、個体数ともに少ない。 ・刈寄谷川沿いでは、ミルンヤンマやヒガシカワトンボ等、溪流性のトンボ類、アトボシアオゴミムシ等の水際に生息する種が多く確認される。 	
魚介類・底生生物	<ul style="list-style-type: none"> ハグロトンボ、ヒガシカワトンボの様に水辺にヨシ等の河畔植生のある環境を好む種、クロサナエのように河床の底土に隠れながら生息する種、ヒラタドロムシやヘビトンボのように礫の下等に生息する種が確認された。 ほとんどの種が水のきれいな山地の溪流に生息する種である。 		

4-2. 平成20年度調査に向けて

平成 20 年度調査における調査方針を以下に示す。

生物相の継続的な把握

平成 19 年度調査に引き続き、植物、動物（哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、陸上昆虫類、魚介類・底生動物）の把握を実施する。

平成 20 年度は、林相転換整備後の初年度にあたり、生物相の大きな変化が予想される。「みなと区民の森」の生物相を網羅的に把握し、生態系の面からの林相転換整備の評価・改善対策を行うことを目的とする。

稚樹の生育状況モニタリング

林相転換後の稚樹の生育状況のモニタリングとして、植物群落組成調査、稚樹調査を実施する。

稚樹の生育状況の検討を行うことが必要な地形・日照等の生育環境ごとに 10m×10m のコドラート（対照区）を設け、その中の植物群落組成（各植物種が構成する被度・群度）の調査を行う。また同時に育成対象となる稚樹の樹長等について計測を行い、稚樹の生育状況の評価・改善対策を行うことを目的とする。

「みなと区民の森」ガイドブック作成準備

上記 の調査を進めていくと同時に、「みなと区民の森」のガイドブック作成のためのビジュアル（写真、動画）的な情報の収集を行うものとする。

収集したい状況は以下のとおり。

- ・樹林更新の経時的な変化。
- ・「みなと区民の森」の特徴的な生物（四季の花、特徴的な動物等）